

## 令和5年度 市内遺跡

---

— 試掘・確認調査・緊急発掘調査報告書 —

2024

高崎市教育委員会



## 序

高崎市は、古来より関東と信越をつなぐ交通の要衝に位置する人口約37万の中核市です。

本市ではユネスコ「世界の記憶」となった上野三碑や城門が復元された史跡箕輪城跡、史跡保渡田古墳群とそれに近接するかみつけの里博物館などに多くの見学者が訪れ、文化財への興味が高まっています。

本報告書は、開発事業により埋蔵文化財に影響がおよぶ恐れのある開発について、事前に遺跡の確認・試掘調査を実施した令和5年度の成果について文化財調査報告書第505集としてまとめたものです。

結びに、遺跡の確認・試掘調査、その後の保存措置、報告書刊行にあたりご協力いただきました関係機関並びに関係者の皆様に心から感謝申し上げます、序といたします。

令和6年3月

高崎市教育委員会

教育長 小林良江



## 例 言

---

1. 本書は、令和5年度国庫補助事業として、市内各所の埋蔵文化財の試掘・確認調査・緊急発掘調査を実施した市内遺跡発掘調査事業の調査報告書である。
2. 試掘・確認調査・緊急発掘調査にかかる経費は、令和5年度国宝重要文化財等保存整備費補助金および高崎市費をもって負担した。
3. 本事業の実施期間は令和5年4月1日～令和6年3月31日であるが、編集の都合上、本書には令和5年12月31日までの調査を対象として掲載した。
4. 本事業の調査および事務は、高崎市教育委員会事務局教育部文化財保護課埋蔵文化財担当が行った。調査組織は以下のとおりである。

教育長／飯野 眞幸（～6月30日）・小林 良江（10月1日～）  
教育部長／青柳 正典 文化財保護課長／角田 真也  
文化財保護課長補佐兼埋蔵文化財担当係長／清水 豊 埋蔵文化財担当係長／滝沢 匡  
事務担当／佐藤 聡子、深澤 恵、木村 夏葵、宮下 昌文、瀧上 充弘  
調査担当／山本 ジェームズ、南雲 博文、田辺 芳昭、須永 忍、櫻井 条、飯塚 誠、田村 孝
5. 本書の執筆・編集は主に山本が行った。図版作成作業は担当者および担当者の指示の下、会計年度任用職員（臨時職員）が実施した。また、調査時の遺構等記録写真の撮影は、各調査担当者が実施した。
6. 調査一覧表および調査場所位置図には、令和5年4月1日から同年12月31日までに実施したすべての試掘・確認調査を掲載した。合わせて、令和4年度の補遺分となる令和5年1月1日から同年3月31日までに実施した調査も掲載した。なお、令和6年1月1日から同年3月31日までに実施した調査については次年度の報告書での掲載とする。
7. 試掘・確認調査の概要については、現状保存となった遺跡を中心に、特筆すべきものを抽出して掲載した。保存協議を経て記録保存のための発掘調査が実施された遺跡および実施予定の遺跡の詳細については各々の調査報告書に委ねることとし、本書では原則未掲載とした。
8. 各調査の出土遺物や記録図面、写真類は高崎市教育委員会文化財保護課で保管している。

## 凡 例

---

1. 本書で使用した地図類は、国土地理院発行1/50,000地形図および1/2,500高崎市都市計画基本図を元に作成した。なお、使用した図版縮尺は、各図に表示している。
2. 試掘・確認調査では、方位は磁北を利用した。なお、本書中に掲載のある座標値は、平面直角座標第IX系国家座標（世界測地系）を原則とし、方位は同座標北（G.N.）である。
3. 各種測量図や断面図に付した高さは、調査毎に設定した任意の高さを基準としている。
4. 土層・遺物の色調および土壌の注記は、農林水産省農林水産技術会議事務局・（財）日本色彩研究所監修1967『新版標準土色帖』（1997年後期版）を使用した。
5. 本書で触れる代表的なテフラ等火山噴出物および各種遺構の略号は、以下を使用した。

As-A（浅間Aテフラ）：天明3（1783）年 Hr-FP（榛名ニツ岳伊香保テフラ）：6世紀半ば  
As-B（浅間Bテフラ）：天仁元（1108）年 Hr-FA（榛名ニツ岳渋川テフラ）：5世紀末～6世紀初頭  
As-C（浅間Cテフラ）：3世紀後半  
SB：掘立柱建物跡 SD：溝 SI：壑穴建物跡 SK：土坑 Pit：柱穴・小穴 SX：不明遺構  
SZ：古墳

# 目次

序・例言・凡例・目次・挿図目次

## 1. 試掘・確認調査及び工事立会

(1) 令和4年度 試掘・確認調査 補遺分	1
(2) 令和5年度 試掘・確認調査	2
(3) 令和4年度 工事立会 補遺分	5
(4) 令和5年度 工事立会	6

## 2. 試掘・確認調査及び工事立会位置

(1) 高崎市位置	10
(2) 高崎・新町地域	11
(3) 箕郷・群馬地域	12
(4) 倉淵地域	13
(5) 権名城域	14
(6) 吉井地域	15

## 3. 試掘・確認調査の概要

(1) R4-55 貝沢町字紺屋貝戸	16
(2) R4-56 吉井町長根字宿	17
(3) R4-69 下室田町字駒寄	18
(4) R4-74 本郷町字奥原	20
(5) R4-76 三ツ寺町字出水端	21
(6) R4-79 貝沢町字船荷塚	22
(7) R5-2 中居町一丁目	23
(8) R5-6 菅谷町字村東	24
(9) R5-7 上里見町字田中	25
(10) R5-9 小八木町字宅地筋	26
(11) R5-19 中泉町字土王堂	27
(12) R5-20 東国分町字村前	28
(13) R5-44 上並榎町字八反田	29
(14) R5-45 倉賀野町字下正六	30
(15) R5-49 菅谷町字高畑, 高貝戸	31
(16) R5-51 岩鼻町字天神	32
(17) R5-53 倉賀野町字東上正六	34
(18) R5-62 東国分町字村前	35
(19) R5-71 若田町字清水久保	36
(20) R5-73 上佐野町字舟橋	37
(21) R5-74 引間町字松葉	38

## 4. 緊急発掘調査の概要

(1) 金古如来古墳群(第2次調査)	40
--------------------	----

## 写真図版

PL. 1~6 試掘・確認調査	
PL. 7 847 金古如来古墳群(第2次調査)	

## 抄録・索引

# 挿図目次

第1図 高崎市域位置図	10
-------------	----

第2図 高崎・新町地域 試掘・確認調査位置図	11
第3図 箕郷・群馬地域 試掘・確認調査位置図	12
第4図 倉淵地域 試掘・確認調査位置図	13
第5図 権名城域 試掘・確認調査位置図	14
第6図 吉井地域 試掘・確認調査位置図	15
第7図 R4-55 貝沢町 調査区位置図	16
第8図 R4-55 調査区平面図・柱状図	16
第9図 R4-56 吉井町長根 調査区位置図	17
第10図 R4-56 調査区平面図・柱状図	17
第11図 R4-69 下室田町 調査区位置図	18
第12図 R4-69 調査区平面図・柱状図	19
第13図 R4-74 本郷町 調査区位置図	20
第14図 R4-74 調査区平面図・柱状図	20
第15図 R4-76 三ツ寺町 調査区位置図	21
第16図 R4-76 調査区平面図・柱状図	21
第17図 R4-79 貝沢町 調査区位置図	22
第18図 R4-79 調査区平面図・柱状図	22
第19図 R5-2 中居町一丁目 調査区位置図	23
第20図 R5-2 調査区平面図・柱状図	23
第21図 R5-6 菅谷町 調査区位置図	24
第22図 R5-6 調査区平面図・柱状図	24
第23図 R5-7 上里見町 調査区位置図	25
第24図 R5-7 調査区平面図・柱状図	25
第25図 R5-9 小八木町 調査区位置図	26
第26図 R5-9 調査区平面図・柱状図	26
第27図 R5-19 中泉町 調査区位置図	27
第28図 R5-19 調査区平面図・柱状図	27
第29図 R5-20 東国分町 調査区位置図	28
第30図 R5-20 調査区平面図・柱状図	28
第31図 R5-44 上並榎町 調査区位置図	29
第32図 R5-44 調査区平面図・柱状図	29
第33図 R5-45 倉賀野町 調査区位置図	30
第34図 R5-45 調査区平面図・柱状図	30
第35図 R5-49 菅谷町 調査区位置図	31
第36図 R5-49 調査区平面図・柱状図	31
第37図 R5-51 岩鼻町 調査区位置図	32
第38図 R5-51 調査区平面図・柱状図	33
第39図 R5-53 倉賀野町 調査区位置図	34
第40図 R5-53 調査区平面図・柱状図	34
第41図 R5-62 東国分町 調査区位置図	35
第42図 R5-62 調査区平面図・柱状図	35
第43図 R5-71 若田町 調査区位置図	36
第44図 R5-71 調査区平面図・柱状図	36
第45図 R5-73 上佐野町 調査区位置図	37
第46図 R5-73 調査区平面図・柱状図	37
第47図 R5-74 引間町 調査区位置図	38
第48図 R5-74 柱状図	38
第49図 R5-74 調査区平面図	39
第50図 金古如来古墳群(第2次調査) 調査区位置図	40
第51図 金古如来古墳群(第2次調査) 全体図	41
第52図 SD01・SD02 断面図	42
第53図 SD03・SD04・SD05 断面図	43
第54図 SD06・SD07 断面図および基本土層柱状図	44

## 1. 試掘・確認調査及び工事立会

(1) 令和4年度 試掘・確認調査 補遺分 (令和5年1月1日～3月31日)

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査結果	遺構面までの深さ (cm)	備考
54	1月7日 ～10日	(A)C 中大瀬町字新井西67-1, -2 (B)C 中大瀬町字神田26-1, 27, 28	学校法人 高崎健康福祉 大学 71号/校舎新築	7,322.00	234.61	・As-B下木田(南北地帯多数、 大瀬堤脚1条) ・土器小片	(A)C 1T -58～83 2T -57～67	
55	1月16日	貝沢町字船屋戸1503-1, -2, 1504の各一部	共同住宅新築のため	269.94	13.34	・溝 ・土器小片	-100	
56	1月17日	吉井町長根字宿1650-1一部	倉庫建設	4,446.00	153.84	・塼穴建物6軒、溝5条、土坑1基 ・弥生時代後期～古墳時代前期の 土器	2T -80 3T -30 4T -30～50	
57	1月18日	宮元町255, 256	集合住宅建築	353.63	31.50	・土坑多数、As-A埋戻坑 ・近世、陶磁器、瓦、磁石	1T -50 2T -30～60	
58	1月19日	京目町字稲藪658-1, 659-1, 660-1	倉庫建設用地	2,486.00	59.00	・溝2条(同一遺構か) ・遺物なし	1T -80 2T -90	
59	1月23日	榑高町字南八幡街道74-2, -7, 81-3, 82-1, -2, 83-2	事務所建設	924.60	40.59	・塼穴建物1軒、土坑複数 ・土器片	1T -70 2T -60	
60	1月24日	東園分町字村内503	倉庫建設	2,635.00	14.24	・遺構、遺物なし	-	
61	1月25日	飯塚町字村内541-2	集合住宅の新築	336.63	21.59	・溝(自然流路) ・土器、土器片	1T -100 2T -70	
62	1月27日	下中居町字宅地部927-1, 427-2, 431-5, -7	共同住宅新築のため	1,112.78	31.92	・土坑、ビット ・土器器、高坏等	1T -61～62 2T -115	
63	2月2日	萩原町字柳ノ内241-2、先水路、 道筋、254-1先水路	倉庫建設	7,781.00	8.80	・遺構、遺物なし		
64	2月6日	本郷町字塚中546-3	個人住宅新築	288.89	21.90	・ビット1基 ・土器器碎片、須恵器大甕片	1T -17～31 2T -19～23	
65	2月6日	中豊岡町字藤川423-3	豊岡新駅の建物建設	2,029.00	29.46	・塼穴建物、溝 ・羽釜破片、土器器碎片、須恵器片	1T -72～126 2T -82～123 3T -46～88	
66	2月7日	下之城町字松村 (高崎市區高道路19号線)	道路建設 (水路、擁壁)	-	2.80	・壘か ・遺物なし	-110～140	
67	2月8日	倉賀野町字橋東1962-3, -8 字穴池2333-1, -2	宅地分譲及び道路築造	839.36	17.99	・土坑 ・土器器片	-67	
68	2月9日	井野町字砂田496-1, 497-1, 498-1, 499-1	集合住宅建設	737.78	20.70	・As-B混土、高まり ・遺物なし	1T -40～50	
69	2月9日	下底田町字駒寄2952, 2945-3, 2950, 2953, 2949, 2947, 2948, 2945-1, -2, -4, 2956-1, 2950 字根古屋3172-6, -16, -17	太陽光発電設備設置 (貯水池)	20,662.00	81.00	・縄文時代の土坑、古墳時代以降 の弥生遺構、土坑 ・縄文土器片、黒磁石	2T -25 3T -35～40 4T -40～60 5T -60～70	
70	2月10日	箕郷町上芝字茶園場21-1, -2, 22-4	宅地造成	1,854.00	39.02	・縄文土器包含層 ・縄文土器深鉢片	-15～30	
71	2月13日	吉井町池字中井1428, 1429, 1430-1, -2, 1431-3 字竹藪1565-1, 1566-2	店舗建設	4,772.22	118.55	・遺構なし ・須恵器破片	-	
72	2月13日	上室田町字大和田4920, 4916-1, 4917-1, 4918	太陽光発電設備設置	8,502.00	39.60	・遺構なし ・遺物なし	-	
73	2月14日	中室田町字江戸村1768, 1769, 1771-1	太陽光発電設備設置 (貯水池)	4,876.00	77.57	・ビット1基 ・須恵器高台付甕、縄文土器片 など少量	4T -15～25	
74	2月15日	本郷町字奥原716-1, -11	太陽光発電設備設置	2,042.00	44.19	・塼穴建物5軒 ・土器器片、模倣坏	1T -30～40 2T -40～50 3T -50～70	
75	2月16日	貝沢町字船屋戸1504の一部、 1505, 1506-3, -4, 1508	共同住宅新築	1,309.97	43.00	・土坑1基 ・須恵器、土器	2T -51	
76	2月16日	三ツ寺町字出水端510, 511, 512-5	個人住宅の建設	616.69	18.10	・塼穴建物3軒、土坑1基 ・土器器、須恵器破片	1T -40 2T -50～60	
77	2月17日	上里見町字新井232-1, 233-1	住宅分譲	2,029.00	29.46	・段状地形、As-B混土土坑、溝 ・磁石	-	
78	2月17日	塚田町字的場18-1の一部	集合住宅建設	1,586.87	60.00	・土坑1基、ビット1基 ・土器器、須恵器破片	1T -90～100 2T -130～140	
79	2月20日	貝沢町字稲藪1206-3	共同住宅建築	750.42	20.16	・大型壘(壘か) ・内耳鏡片、中世陶器片	1T -35～40 2T -40 3T -46	
80	2月20日	飯塚町字村内661地	宅地分譲地の引込道路	1,656.00	27.00	・溝1条、土坑2基、ビット2基 ・土器器、陶磁器小片	1T -60～70	

1. 試験・確認調査及び工事立会

試験番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査結果	遺構面までの深さ (cm)	備考
81	2月21日	東長沢町3丁目40-3, 40-12	共同住宅建築	1,011.99	41.80	・As-B混土溝 ・遺物なし	-55	
82	2月22日	中里見町字中川924, 925, 970-4, -20	整地、排水溝埋設、敷砂利	3,244.00	60.00	・As-B水田、Hr-FA下水田 ・遺物なし	・B下水田 -75~85 ・FA下水田 -120~148	
83	2月24日	倉賀野町橋東1973	木造2階建てがく1棟の建設(集合住宅)	412.36	22.40	・村状遺構、土坑7基、びょう 12基、土器 ・土師器変、高坏脚部	-25~58	
84	2月27日	和田多中町225-4	賃貸住宅建築	870.26	40.20	・As-B下水田、溝、As-B混土坑 ・遺物なし	-85~90	
85	3月9日	八幡町字薬山726-1の一部	集合住宅新築工事	1,565.37	79.50	・堅穴建物12軒以上、土坑、溝等 ・土師器、須恵器、灰輪器片	1T -40~60 2T -44~51 3T -34~41 4T -40~43	

(2) 令和5年度 試験・確認調査 (令和5年4月1日~12月31日)

試験番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査結果	遺構面までの深さ (cm)	備考
1	4月5日	井野町字屋敷前乙1070, 1070-1, -3, 1074-4の一部, 1076-1, -2, 1077-2, -4	長屋住宅(1棟)建設	968.48	20.00	・As-B混土溝5条、びょう1基 ・遺物なし	1・2T -30	
2	4月6日	中原町一丁目19-1	集合住宅建設	995.00	26.07	・堅穴建物2~3軒、As-B混土溝 1条、びょう2基 ・土師器片(S101・02)	1T -45~50	
3	4月10日	中室田町字磯原2476-1, 2477-1, 2463-3	太陽光発電施設建設	1,118.50	77.19	・土坑1基 ・遺物なし	1T -54	
4	4月12日	吉井町多胡字松原123他	工場建設	16,614.00	546.00	・堅穴建物18軒、古溝8基、溝3条 (1条は炭窯の可能性あり)、 自然流路 ・土師器片、須恵器(大甕、長頸 甕)	-	
5	4月12日	箕郷町下芝字内出畑659の一部, 661-2の一部	店舗(飲食店)事務所の建設	883.76	11.05	・遺構、遺物なし	-	
6	4月13日	菅谷町字村東20-103	店舗建設	1,122.00	90.12	・堅穴建物、溝、びょう ・土師器片、須恵器片	-	
7	4月17日	上里見町字田中1-20, 2-1, -2, -3, -4, 3-1, 4-1, -15, 5-1, -6	店舗建設	4,089.65	120.90	・As-B下水田、As-C混土溝 ・土師器少量	3T -140 4T -120	
8	4月19日	中里町中道134-1	建売分譲(2棟)	418.95	27.45	・As-Bで埋もれた谷地形、 Hr-FA泥流で埋もれた谷地形 ・土師器片少量	-	
9	4月21日	小八木町字宅地部1836-1, -3, -5, -7	集合住宅2棟、一戸建住宅1棟建設	1,061.00	49.80	・堅穴建物3軒 ・S字甕片、土師器片少量	-	
10	4月24日	金古町字南十三町51-1	共同生活援助事業所建設	1,807.00	96.72	・As-B混溝、Hr-FA品 ・遺物なし	-	
11	5月9日 ~10日	榑高町字平石502-1他	物販店舗の建設	3,550.00	74.30	・堅穴建物2軒 ・遺物なし	5T- 57~43	
12	5月12日	箕郷町欠原字藤森607-2の一部	共同住宅4棟建設	2,654.89	74.30	・遺構、遺物なし	-	
13	5月15日	稲荷町5	汚水中継ポンプ設置	1,325.00	4.20	・遺構なし ・土師器片	-	
14	5月16日	(従前地) 高岡町北神343-2, -3, -4, 347-1 (仮換地) 高岡郡都市計画事業 城東土地区画整理事業125 街区343-2, -3, -4, 347-1	長屋住宅建設	1,018.65	43.05	・As-B下水田 ・遺物なし	-	
15	5月17日	箕郷町下芝字清水371, 372, 374-1	建売分譲住宅用地	2,597.00	107.50	・As-B下水田 ・遺物なし	1T -34 2T -59 3T -38 4T -48 5T -48(西) -34(東)	
16	5月22日	下中居町374-1他	宅地建売分譲	2,215.80	32.80	・溝1条(近世)、土坑(古代) ・須恵器片、土師器片少量 (SK-1埋土)	-	
17	5月23日	上中居町字宇名室1180, 1186-3, -10, -11の各一部	位置指定道路設置 鉄骨建長屋建設	857.44	36.00	・堅穴建物1軒、土坑1基、溝2条 ・土師器片少量(古墳時代)	1T -35~82	
18	5月24日	吉井町本郷字須内185-2, 186-1, -3, -4, -6, 189-1	建売分譲住宅(7棟)	1,665.00	69.82	・遺構なし ・土師器、須恵器小片少量	-	

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査結果	遺構面までの深さ (cm)	備考
19	5月25日	中泉町字十王堂81-1, 82-1	水造2階建住宅(4棟)建設及び造成工事	748.00	39.06	・堅穴建物跡3軒、溝1条、品、土坑1基 ・土師器、須恵器	1T -46~50 2T -66~77	
20	6月5日	東国分町字村前223-1, 6 (A区) 223-5, 10 (B区) 223-2, 7 (C区) 223-3, 8 (D区)	専用住宅建設 (各区画1棟)	330.89 437.66 332.00 425.85	7.20 7.76 6.86 7.60	・堅穴建物6~7軒 ・土師器、灰釉陶器、須恵器、布目瓦、金属製品(釘)	—	
21	6月5日 ~16日	吉井町多比良字向平内地	特イ栽培ビニールハウス等 農畜整備	20,000.00	468.86	・堅穴建物5軒、溝1条、 ・自然流路2 ・土師器、須恵器	—	
22	6月12日	箕郷町上芝字東金沢178-2	地区集会所の建設	1,258.00	49.50	・遺構なし ・土師器小片	—	
23	6月13日	稲荷台町字東金尾境233-8, 235-1の各一部	障害者用グループホーム建設	930.00	43.54	・溝、品 ・遺物なし	1T -42~59 2T -39~41	
24	6月14日	中尾町字原630-1, -2の各一部	共同住宅建設	681.62	40.70	・溝、土坑、ビツ ・遺物なし	1T -35 2T -63	
25	6月15日	冷水町字川窪104-6, 106-1, 107	造成工事	681.00	35.81	・遺構なし ・土師器片	—	
26	6月15日	若田町字村前33-4	市道新設	480.00	42.80	・堅穴建物5軒以上、ビツ8基 ・土師器環・壺片、須恵器碎片	1T -60 2T -88	
27	6月19日	吉井町吉井字厳冷町757-1の 一部、758-1	共同住宅建設	982.70	47.16	・As-Aの処理坑 ・遺物なし	—	
28	6月26日	八幡町字大島原1384-1, -2, 1385-1, 1386-4	賃貸住宅建設	852.00	60.02	・堅穴建物6軒以上、土坑1基、 As-A処理坑1基 ・土師器、須恵器	1T -101 2T -100~ 126	
29	7月4日	岩鼻町字延慶寺20-1 字天神237-1, -2	宅地分譲	2,061.00	38.78	・自然流路、溝、土坑 ・遺物なし	1T -44 2T -22	
30	7月5日	箕郷町矢原109-2	建売分譲住宅(9区画)	2,478.00	51.20	・土坑2基 ・遺物なし	1T -24 2T -53	
31	7月10日	吉井町吉井川字田島1322-1, -2	集合住宅(2棟)建設	1,017.00	20.86	・遺構、遺物なし	—	
32	7月11日	北新渡町附字屋敷54	建売住宅建設	701.49	51.52	・遺構なし ・土師器	—	
33	7月12日	下之越町字村東531-1, 532-1, 562-5	共同住宅建設	988.63	72.17	・As-B下水田(畦畔1条)、 As-B混土溝2~3条 ・遺物なし	1T -93~125 2T -98~120	
34	7月13日	中泉町字十王堂80	建売分譲	438.60	38.25	・品 ・土師器、須恵器	1T -73~77 2T -77~78	
35	7月18日	和田町17-5, -12, -13	集合住宅建設	331.54	23.70	・As-Aの処理坑、As-B混溝か ・近世陶磁器、土師器、須恵器 小片少量	2T -101	
36	7月24日	倉賀野町字葉師前806-1, -2	分譲住宅(8区画)建設	2,115.00	138.48	・堅穴建物2軒、堅穴状遺構1基、 溝12条、土坑10基、ビツ6基 ・土師器小片、須恵器小片、内耳	1T -63~72 2T -52~81 3T -59~75 4T -47	
37	8月2日	高岡町字塚村110-1	貸家建設	800.00	37.51	・遺構なし ・近世陶磁器	—	
38	8月7日 ~8日	足門町字東原845-6, -7, 846-5, -6, 847-1, -2, -3, 848-1, -2, -4	認定こども園(1棟)建設	3,154.00	106.00	・遺構なし ・縄文土器少量	—	
39	8月13日 ~14日	東国分町薬師道南190-1	個人住宅建設に伴う 浄化槽設置	718.44	28.82	・堅穴建物	—	
40	8月21日	大八木町字伊勢廻569-1	個人住宅建設	443.99	13.52	・溝2条以上(自然流路か) ・須恵器片	—	
41	8月23日	倉賀野町字荒神2197-5, -6	建売分譲住宅(1棟)建設	192.44	13.20	・遺構なし ・土師器片、S字壺片	1T -73 2T -76	
42	8月30日 ~31日	高岡町字西神217-4他	集合住宅建設	3,364.66	33.04	・As-B以降の耕作痕(As-B下面) ・遺物なし	—	
43	9月1日	北原町字村南170-1	集合住宅建設	1,787.00	76.20	・土坑、ビツ ・遺物なし	As-C混土層 上面-50~74	
44	9月5日	上笠榎町字八反田152, 153-1の各一部	個人住宅建設	480.50	9.50	・古墳周囲と推定される掘り込み ビツ3基(中世以降) ・須恵器壺片	1T ビツト-142 周堀-155~ 170前後	
45	9月6日	倉賀野町字丙下正六605-1	個人住宅建設	348.00	30.70	・小鶴巻古墳の前方部個個周 (1・2・4T) ・土師器片(As-B混土中)	4T -87	
46	9月11日	岩鼻町字坂下149-2, -4, -5	土地分譲住宅 (位置指定道路部分)	1,485.75	29.36	・As-B下品のサ、Hr-FA以前の谷 ・遺物なし	1T -72	
47	9月12日	菅谷町字石塚956-1	一戸建住宅建設	272.66	19.04	・遺構、遺物なし	—	

1. 試掘・確認調査及び工事立会

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査結果	遺構面までの深さ (cm)	備考
48	9月14日	菅谷町字村前786-1 字高前1130-3	宅地造成	811.15	65.68	・中世以降の溝、溝1条、土坑1基、ビョト基 ・陶磁器(瀬の埋土内)	1T -122 2T -82~110 3T -96~105	
49	9月19日	(仮前地) 菅谷町高畑815-1, 813, 814, 821, 高員戸725, 736, 727-1の各一部 (仮換地) 高崎市計画事業菅谷高畑土地区画整理事業25-2街区の一部	木造2階建長屋(2棟)建設	1,208.78	48.60	・塼穴建物4軒、溝7条、土坑1基、ビョト1基 ・奈良平安時代須恵器散片	1T -49~51 2T -60~61 3T -53~56 4T -59~60	
50	9月25日	雁代町48-1他	共同住宅建設	2,249.63	23.00	・As-B期の土坑2基、ビョト2基 ・陶磁器片、土師器片	2T -84	
51	10月4日	岩鼻町字天神233-17	ンサ-用駐車場	1,704.39	66.10	・古墳周囲1、溝4条(内2条は周濠の可能性)、土坑1基、ビョト1基 ・埴輪片(古墳周囲内)、土師器片	1T -158~177 2T -145 3T -138 5T -150	
52	10月5日	吉井町本郷字田中608	市道改良工事(市道拡幅)	189.80	11.48	・As-A処理の溝か土坑	4T -89~92	
53	10月6日	倉賀野町字東上正6316-4, -6	土地売買(宅地分譲)	278.13	26.80	・倉賀野渡間山古墳の中環、外環遺物なし	1T -72~52 2T -62	
54	10月10日	石原町字岡街道3047-1, 3048-1	個人住宅建設	506.18	19.60	・遺構、遺物なし	-	
55	10月11日	中居町一丁目19-2	共同住宅建設	642.53	26.30	・跡具直(As-B期)古代以前の溝4条、土坑4基、ビョト1基 ・遺物なし	1T -102~106 2T -85	
56	10月13日	宮沢町字甲申塚1264-4, 1265-1	太陽光発電施設(調整池)	2,923.00	33.76	・遺構、遺物なし	-	
57	10月16日	箕野町下芝字谷ツ786-1	建完分譲(3棟)	627.00	50.68	・中世期以降の竹、古代以前の土坑1基、ビョト1基 ・遺物なし	2T -42~63	
58	10月19日	(仮前地) 菅谷町字村前770-2の一部 (仮換地) 高崎市計画事業菅谷高畑土地区画整理事業31街区770-2の一部	個人住宅建設	330.59	6.30	・遺構なし ・土師器小片	-	
59	10月23日	中泉町字稲荷前623-3の一部	住宅(8区画)建設	1,456.50	40.00	・溝1条、ビョト4基 ・遺物なし	-73 As-B下面 -64	
60	11月2日	中泉町字稲荷前615-1	集合住宅建設	437.80	14.70	・遺構、遺物なし	-	
61	11月6日	小八木町字関部421-1	事務所建設	738.04	21.00	・溝1条、土坑2基、ビョト8基 ・縄文土器、土師器、須恵器	1T -56~66 2T -48~70	
62	11月8日	東園分町字村前215-1, -6	有料老人ホーム建設	2,334.19	61.16	・島の付13条(古墳後期以降)、土坑1基(中世期) ・須恵器坏片	1T~3T -138~156 1T -42	
63	11月9日	検物町148	共同住宅建設	160.97	11.90	・As-B下溝1条、As-A処理坑2基、As-A以前土坑1基、As-A以降井戸1基 ・近代の陶磁器類多量	1T -82~128	
64	11月13日	南大瀬町字西沖1381-4	宅地造成	1,869.64	72.80	・As-B下水田、溝1条 ・馬歯1(2TのAs-B下面)	1T -160 2T -108~148	
65	11月14日	金古町字王塚1561-2, -5, -6	一戸建住宅(木造平屋建)建設	675.95	22.60	・遺構、遺物なし	-	
66	11月16日	榑高町字辻久保1521-216, -217 字辻ノ内1381-3, 1426-1, 1427-1	水泳場建設	748.25	107.40	・島の付(Or-FA前後)、溝1条、土坑4基、井戸1基、ビョト4基 ・遺物なし	2TA -110 ~115 2TB -115	
67	11月20日	東明屋町349-1, -2	集合住宅建設	761.58	24.17	・As-C下段差、土坑1基、ビョト1基 ・縄文土器片	-	
68	11月21日	石原町字上山2307-4	個人住宅建設	394.06	8.55	・遺構、遺物なし	-	
69	12月5日 ~8日	日高町字村西322	耕作土のすき取り	3,094.00	175.90	・塼穴建物5軒、土坑、溝、井戸、ビョトなど複数 ・棒式土器、土師器、須恵器、馬歯	-	
70	12月12日	小八木町字村東1424-1, 1425-2, 1429-1	宅地造成(開発道路)	984.00	33.50	・As-B下水田(畦畔3~4条) ・遺物なし	-43~56	
71	12月14日 ~15日	若田町字清水久保70-1	防災センター・露天駐車場及び露天資材置場整備	2,154.00	44.30	・塼穴建物3軒、溝3条、ビョト8基 ・古墳~平安時代土師器、須恵器	1T -67~100 2T -76~110	
72	12月18日	上中居町字名張1118-1の一部、1122-1の一部	長屋住宅建設	559.90	14.80	・遺構、遺物なし	-	

## 1. 試掘・確認調査及び工事立会

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積(m <sup>2</sup> )	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査結果	遺構面までの深さ(cm)	備考
73	12月19日	上佐野町字船橋170, 172-1	集合住宅建設	436.08	12.42	・ 堅穴建物2軒、土坑1基 ・ ヒット1基 ・ 土師器器、珙、高坪 ・ S字状口縁付甕片等	1T -64~92 2T -64~65	
74	12月21日 ~22日	引間町字松葉2-1, 3-1	小規模多機能居宅介護事業施設、就労支援事業所の建設	2,479.00	80.76	・ 堅穴建物4~5軒、土坑1基 ・ ヒット3基 ・ 土師器、須恵器、瓦、鉄製品、鉄洋	1T -76~100 ~122 2T -56	
75	12月25日 ~26日	井野町字島ノ分756-1, -2, -5	建売分譲	1,808.73	145.98	・ 溝(A=B階下後) ・ 遺物なし	-	

## (3) 令和4年度 工事立会 補遺分 (令和5年1月1日~3月31日)

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積(m <sup>2</sup> )	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査結果	遺構面までの深さ(cm)	備考
69	1月7日	新後関町12-7の一部、12-9	建売住宅建設	149.06	-	・ 遺構、遺物なし	-	
70	1月11日	中原町一丁目5-7, -8, -9	木造平屋建住宅建設	211.00	98.81	・ 遺構、遺物なし	-	
71	1月16日	西園分町字六ツ割254-1	戸建住宅建設	607.30	10.00	・ 遺構、遺物なし	-	
72	1月18日	金古町字玉塚1520-2, 1531-1	障害者共同生活援助がらふホーム建設(浄化槽設置)	1,796.66	6.00	・ 遺構、遺物なし	-	
73	1月19日	倉賀野町字天神1770-1, 4559-5	宅地造成による擁壁設置	934.58	45.00	・ 遺構、遺物なし	-	
74	1月20日	菅谷町字三社免77-139	木造1階建て専用住宅1棟建設に伴う浄化槽設置	424.90	3.75	・ 遺構、遺物なし	-	
75	1月24日	中室田町字埴原2525-1, 2523-1他7棟	太陽パネル設置工事に伴う伐根	10,228.00	30.00	・ 遺構、遺物なし	-	
76	1月25日	貝次町字扇屋貝戸1504, 1505, 1506-3, -4, 1508	共同住宅新建設	1,309.97	60.00	・ 遺構、遺物なし	-	
77	1月30日	中里町字中道169-2	個人住宅建設	298.75	3.96	・ 遺構、遺物なし	-	
78	1月30日	倉賀野三ノ倉4580	屋外軒支柱設置	1,199.29	-	・ 遺構、遺物なし	-	
79	1月31日	本郷町字上束1971-2, -4, 1983-5	木造一階建専用住宅(1棟)建設	366.60	4.50	・ 遺構、遺物なし	-	
80	1月31日	中原町一丁目5-31	個人住宅建設	136.51	-	・ 遺構、遺物なし	-	
81	1月22日	塚田町の場20	宅地造成	1,071.00	-	・ 遺構、遺物なし	-	
82	2月2日	箕郷町上芝町字茶園欄21-1, -2, -4	宅地造成	1,854.00	6.00	・ A地点は擁壁外面から100cmほど内側でH-FAC脱炭を確認	-	
83	2月3日	吉井町池字宮田9-13, 10-7	美容院建設	418.34	45.00	・ 遺構、遺物なし	-40	
84	2月8日	保渡田町字中里前2226-1	わたり(外)設置に伴う掘削、マスの建柱を行い、上部に切り取り行ける	1,205.24	-	・ 遺構、遺物なし	-	
85	2月8日	上室田町字両庭1690-1他	公園造成に伴う浄化槽、トイレ設置	4,090.70	5.60	・ 遺構、遺物なし	-	
86	2月14日	下之城町区画整理事業地	区画整理事業内、区画道路17号道路側溝設置	480.00	20.00	・ 近現代までの溝、道路跡 ・ 埴土中から磁器片、珙、基石	-	
87	2月15日	上佐野町字舟橋117-1, 118-5	木造2階建個人住宅建設	367.51	41.50	・ 遺構、遺物なし	-	
88	2月22日	宮元町255, 256	集合住宅建設	353.63	50.00	・ 近現代の陶磁器	-	
89	2月22日	下室田町字駒寄2952他 字狭小福3172-6他	太陽光発電設備設置	20,662.00	-	・ 遺構なし ・ 縄文土師、土師器、須恵器片 30点ほど ・ 陶磁器片3点、石割片1点	-	
90	2月24日	中尾町字吹屋間1263-2	長屋住宅建設	506.91	44.00	・ 遺構、遺物なし	-	
91	2月27日	小八木町字宮道1-1, 4-1	宅地分譲造成に伴う擁壁工事	-	-	・ 堅穴建物2軒、土坑、溝 ・ 土師器坏、須恵器器等	-	
92	3月2日	吉井町多比良字吹返木3035, 3039	工場建設に伴う擁壁工事	1,726.00	48.60	・ 遺構なし ・ 須恵器製の胴部片1点	-	
93	3月13日	箕郷町生原127-1, -2	宅地造成	1,654.00	21.00	・ 遺構、遺物なし	-	
94	3月13日 ~16日	倉賀野町字橋東1973	木造2階建て(7~1)の建設(7~1併設石置換)	412.36	-	・ 3/13 プラッタ層掘削 ・ 3/16 遺構面に到達せず ・ 遺物なし	-	

1. 試掘・確認調査及び工事立会

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査結果	遺構面までの深さ (cm)	備考
95	3月15日	矢中町922-4, -5	宅地造成	407.58	12.00	・「大沢氏・秋山氏」の館北の 遺跡の延長部か ・遺物なし	—	
96	3月15日	福島町字諸口774-3, -4, -5	宅地分譲に伴う擁壁工事	1,624.00	—	・遺構なし ・表土面に土器片	—	
97	3月16日	三ツ寺町字井出水堀510, 511, 512-2	個人住宅建設	616.67	—	・遺構、遺物なし	—	
98	3月17日	栗根町字藤田平1957-1, -2, -3	宅地造成、擁壁工事	649.85	—	・遺構、遺物なし	—	
99	3月17日	貝沢町字稲荷塚1206-3 ※試掘 84-79(R5.2/20)	共同住宅建設	750.42	—	・遺構、遺物なし	—	
100	3月22日	上佐野町字諏訪前369-2	木造2階建住宅建設	193.39	39.00	・遺構、遺物なし	—	
101	3月23日	大八木町912-10, -11	事務所新築	285.61	18.00	・遺構、遺物なし	—	
102	3月23日	飯塚町字村内679-1の一部	集合住宅(個人住宅を含む)建設	752.85	—	・遺構、遺物なし	—	
103	3月28日	下之城町区画整理事業地内	区画整理事業地内、区画整理17号道路側掘工事	—	45.00	・溝4条、土坑1基、びょうし基	—	

(4) 令和5年度 工事立会 (令和5年4月1日～12月31日)

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査結果	遺構面までの深さ (cm)	備考
1	4月1日	中泉町字十王堂86-1	2階建売住宅(2棟)建設	331.00	30.00	・遺構、遺物なし	—	
2	4月17日	中里町525-8, -19	住宅建設(基礎掘削)	675.60	46.00	・塼穴建物1軒 ・土器器片散点	—	
3	4月17日	新後関町字寺鐘324-5, -15	戸建て住宅建設	197.79	30.00	・遺構、遺物なし	—	
4	4月18日	八幡町字後観音1069-3, 1070-3	戸建て住宅建設	840.28	17.00	・遺構、遺物なし	—	
5	4月21日	箕郷町矢原字松原1062-105	障害者施設建設	988.00	5.00	・土坑1基(埋土中層にAs-C) ・遺物なし	—	
6	4月24日 ～25日	元島町字八幡815-1	個人住宅建設	469.99	60.00	・古墳周郭(約8m)検出 ・土器器、氣息器片出土	—	
7	4月27日	下里見町字宮戸457-1, 462-1・2	木造2階建住宅建設	340.61	30.00	・遺構なし ・土器器坪の小片1点のみ	—	
8	5月8日	引間町字三社面1203-1, -3, 1220-9, -10	ツリ・舗装設透層設置 (資材置場敷地拡張)	4,158.00	25.00	・遺構、遺物なし	—	
9	5月9日	中尾町字池之内476, 477, 478, 479	農業用ビニハウス関連事業	2,745.00	15.00	・遺構、遺物なし	—	
10	5月22日	八幡町字後観音1023-3	分譲住宅(1棟)建設	150.99	12.00	・遺構、遺物なし	—	
11	5月24日	保渡田町字中里前2226-1～2135	道路並びに変電所構内の 供給用管路架設	—	1.60	・遺構、遺物なし	—	
12	5月29日	井出町字東下井出313-4	戸建個人住宅建設	287.93	2.25	・遺構、遺物なし	—	
13	5月30日	東国分町字村西308-8, -9	戸建個人住宅建設に伴う 浄化槽設置	506.78	2.00	・遺構、遺物なし	—	
14	6月5日	木部町字鳥在毛172-1, -4	住宅建設	2,747.79	6.00	・遺構、遺物なし	—	
15	6月7日	菅谷市町新田1191-1	個人専用住宅建設 (建物基礎の掘削)	368.00	5.00	・遺構、遺物なし	—	
16	6月8日 ・22日	八幡町字藤原1151-7, 1149-3, 1159-2	個人住宅建設	477.86	12.00	・塼穴建物1軒・カマド痕跡 (比較的大型の建物と推定) ・土器器環や大型高坏の脚部有り ・塼穴建物3軒、びょうし基、 側木跡。遺物有り	-85～95 -45	
17	6月12日	正観寺町字村東270一部	農業用付属建物建設	166.90	17.00	・遺構、遺物なし	—	
18	6月12日	浜川町字館1287-1	浄化槽設置	2,163.16	2.28	・遺構、遺物なし	—	
19	6月14日	御崎町字高田1062-1, -4, 1064-1, -13, 1066-1	店舗建設	3,896.95	18.00	・遺構なし ・弥生時代後期(樽式)土器片	—	
20	6月15日	八幡町字薬山719-18	個人専用住宅建設	253.94	14.00	・土坑3基 ・遺物なし	-42	
21	6月16日	箕郷町下芝字内出畑659の一部、661-2の一部	店舗事務所建設(浄化槽)	—	—	・遺構、遺物なし	—	

## 1. 試掘・確認調査及び工事立案

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査結果	遺構面までの深さ (cm)	備考
22	6月19日	上豊岡町字台938-3	個人住宅建設	380.00	20.00	・遺構、遺物なし	—	
23	6月22日	倉賀野町4546-2付近	集合住宅建設	343.45	8.00	・遺構、遺物なし	—	
24	6月27日	東国分町字村西308-6・7	個人住宅建設	486.25	6.60	・遺構、遺物なし	—	
25	6月27日	吉井町吉井字上居合966-1	個人住宅建設	227.22	11.00	・遺構、遺物なし	-24~39	
26	6月28日	上小幡町字村前1293-3	専用住宅建設	357.23	14.00	・遺構、遺物なし	—	
27	7月5日 ~6日	高松町34-16, 55-1	配水管敷設	5.20	5.20	・遺構、遺物なし	—	
28	7月12日	東国分町字村前223-4, -9	木造平屋一戸建個人住宅建設に伴う基礎掘削	325.26	5.00	・遺構、遺物なし	—	
29	7月14日	中泉町字十王堂106-1	分譲住宅(1棟)建設	210.00	14.80	・掘、ビッド ・遺構、遺物なし	—	
30	7月19日	北原町字*ツナ347-8, -9	住宅型有料老人ホーム、老人デイサービス建設	2,044.00	170.00	・1F(彫穴建物2軒、土坑1基)掘削、ビッド(土基) ・2, 3Fは遺構なし	—	
31	7月21日	貝沢町字井ノ貝戸2074-8	分譲住宅建設(土庫改及工事)	258.18	—	・遺構、遺物なし	—	
32	7月26日	筑前町62-3	木造平屋建て住宅建設	295.54	10.00	・遺構、遺物なし	—	
33	8月3日	築崎町字東原723-1	建物建設に伴う外構工事	10,394.29	20.00	・G1-75でAs-0掘削石3cm程あり ・遺物なし	—	
34	8月3日	宮沢町字上金井原1402-1	倉庫建設(建物基礎の掘削)	439.27	6.00	・遺構、遺物なし	-70~80	
35	8月9日	赤坂町94-1	建物解体(基礎撤去)	2,990.76	10.00	・G1-150cm近現代の遺構 ・陶磁器片出土	-150	
36	8月17日	八幡町字地計679-1	個人住宅建設	395.00	—	・遺構、遺物なし	—	
37	8月18日	菅谷高雄地区画整理事業18-2街区7保留地	倉庫建設	167.61	6.00	・遺構、遺物なし	—	
38	8月28日	下住野町字曲前332	宅地造成工事	4,519.00	8.00	・遺構、遺物なし	—	
39	8月28日	中泉町字十王堂81-1, 82-1	住宅建築及び造成工事	748.00	—	・遺構なし ・土師器片	—	
40	8月29日	引間町字七の宮983-3の一部(F区画)	個人住宅建設(浄化槽設置)	445.21	2.20	・遺構、遺物なし	—	
41	9月1日	引間町字小池983-3, 1490-1の各一部(J区画)	個人住宅建設(基礎掘削)	317.48	1.00	・遺構、遺物なし	—	
42	9月4日	引間町字青木978-3	個人住宅建設(基礎掘削)	317.48	1.00	・遺構、遺物なし	—	
43	9月4日	吉井町長根字前1654-1	倉庫建設	538.42	5.00	・土坑1基(古墳~古代) ・遺物なし	—	
44	9月7日	吉井町塩川字下北原122 ① 吉井町塩川字下北原113-1 ②	宅地分譲団地4区画 宅地分譲団地8区画	932.00 673.00	45 50	① 彫穴建物・カマド(粘土)土師器、須恵器、軒丸瓦 ② 遺構、遺物なし	—	
45	9月11日	高浜町字茅井1933	戸建て住宅建設	541.39	3.00	・遺構、遺物なし	—	
46	9月13日	保原町字押出2304他13筆 拡張地8筆	露天駐車場整備に伴うU字溝敷設	8,245.00	6.00	・遺構、遺物なし	—	
47	9月13日	山名町字下東585-1	住宅建設	268.22	—	・遺構、遺物なし	—	
48	9月15日	山名町字服部665-2	住宅建設	208.00	15.00	・遺構、遺物なし	—	
49	9月19日	船荷台町字東金尾堤233-8, 235-1 宗沢掘 85-23 (85, 6/13)	障害者グループホーム建設	930.00	150.00	・遺構、遺物なし	—	
50	9月20日	倉賀野町字東上正6316-4, -6 宗沢掘 85-63 (85, 10/6)	土地売買	278.13	200.00	・遺構、遺物なし	—	
51	9月21日	山名町字徳前1310-3, -4, -8	戸建て住宅建設	319.42	10.00	・遺構、遺物なし	—	
52	9月22日	引間町字七の宮983-3(G区画)	個人住宅建設(浄化槽設置)	322.00	2.73	・I層中須恵器片1点 明確な遺構は確認できない	—	
53	9月25日	倉賀野町字砂押3100-5 宗沢掘 84-42 (84, 11/21・22)	店舗建設	16,291.00	6.21	・As-R水田 ・遺物なし	—	

1. 試験・確認調査及び工事立会

試験番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査結果	遺構面までの深さ (cm)	備考
54	9月26日	倉賀野町字上町5564-8	宅地木造住宅(2棟)建設	290.00	8.00	・遺構、遺物なし	—	
55	9月26日	宿大瀬町1296-1	携帯基地局建設	0.80	0.80	・遺構なし ・かわらけ片	—	
56	9月27日	中泉町字十王堂115-1	個人住宅建設	317.94	77.00	・遺構面まで到達できず、 ・下層に遺構が存在する可能性大	—	
57	9月15日	上並瀬町字八反田152, 153-1の一部, 153-2	個人住宅建設(住状改良)	480.50	—	・古墳周囲(推定) ・遺物確認できない	—	
58	10月10日	高崎市東国分町字村前223-5, -10(B区画) ※試験 R5-20(R5.6/5)	戸建て専用住宅建設	437.66	3.36	・堅穴建物(遺構範囲に削削杭が収まる) ・須臾器碗、羽釜片、布目瓦片	—	
59	9月11日	吉井町多比良字常木3046	太陽光発電設備設置	823.00	80.00	・遺構、遺物なし	—	
60	9月29日	倉賀野町字内下正六605-1 ※試験 R5-45(R5.9/6)	個人住宅建設	348.00	8.80	・小輪帯古墳の前方部側面周 ・遺物なし	—	
61	9月30日	中里見町173-1, 174 ※試験 R4-46(R4.12/5)	店舗建設	4,078.00	—	・遺構、遺物なし	—	
62	10月4日	八幡町字西ノ市906-7	個人住宅用地造成	281.00	—	・堅穴建物3軒、土坑2基	—	
63	10月5日	榑高町字車久保1675-41他	屋内練習場建設 (貯留槽設置)	10.00	—	・遺構、遺物なし	—	
64	10月6日	足門町字濃1092-1	個人専用住宅建設 (浄化槽設置)	455.56	2.00	・遺構、遺物なし	-210	
65	10月11日	上佐野町字寺前440, 442(一部)	分譲住宅(2棟)建設	429.76	50.00	・土師器坏片	—	
66	10月12日	高崎町字茅井1933 ※立会 R5-T45(R5.9/11)	個人住宅建設 (浄化槽設置)	541.39	2.00	・黒色土の掘り込み ・須臾器碗の破片1点(平安時代)	—	
67	10月16日	倉賀野町字荒神2244-1	鉄骨造2階建て長屋建設	971.01	8.00	・遺構、遺物なし	—	
68	10月17日	栗柳町字諏訪平2407, 2408-4	浄化槽及び浸透槽設置	899.58	3.20	・遺構、遺物なし	—	
69	10月17日	三ツ寺町字村内東1088-1の一部, 1089-2, 1090-2	土地分譲用地 個人住宅建設	725.76	—	・遺構なし ・土師器坏片(表土中)	—	
70	10月18日	倉賀野町字八幡前1461-25, 1461-26	木造2階建て住宅建設	240.95	6.00	・遺構、遺物なし	—	
71	10月14日	栗崎町字宮原554-2, 554-16	木造3階建て住宅建設	366.81	—	・遺構、遺物なし	—	
72	10月12日	台新田町字台20-3, -4	戸建て住宅建設	273.50	—	・遺構、遺物なし	—	
73	10月26日	小八木町字井ノ河800-1	携帯基地局建設	694.00	1.00	・遺構、遺物なし	—	
74	10月30日	菅谷土地地区面整理事業25-2街区の 一部 ※試験 R5-49(R5.9/19)	集合住宅(2棟)建設	1,208.78	—	・遺構なし ・土師器片	—	
75	10月31日	箕郷町富岡445-5	鳴沢湖遊歩道1ヶ所設置	11.00	3.00	・遺構、遺物なし	—	
76	11月7日	歌川町8-1, 9-1, -2, -4, 10-1, 50-1, 57-1, -6, 8, 10 並瀬町401-6	土地分譲住宅建設	49,777.04	—	・遺構、遺物なし	—	
77	11月8日	東国分町字村前223-3, 223-8 ※試験 R5-20(R5.6/5)	戸建て専用住宅建設 (浄化槽設置)	425.85	—	・堅穴建物 ・布目瓦小片3点	—	
78	11月9日	上佐野町佐野堀589-3	個人住宅建設	429.76	—	・遺構、遺物なし	—	
79	11月10日	八幡原町字静岡836-1の一部	個人住宅建設 (浄化槽設置)	362.86	—	・古墳周囲1, 溝2条 ・土師器突、埴輪	—	
80	11月10日	榑高町字北街道2010-1	建売住宅建設	232.00	—	・遺構、遺物なし	—	
81	11月16日	東国分町字薬師道南190-1	個人住宅建設	718.44	—	・遺構、遺物なし	—	
82	11月20日	菅谷町字西浦1416-1	木造2階建て個人住宅建設	194.45	3.00	・H-FNの地積を確認 ・遺構、遺物なし	—	
83	11月20日	元島町字將軍塚256-1	倉庫建設	547.88	—	・遺構、遺物なし	—	
84	11月27日	浜川町字道場961-6	個人住宅建設	320.00	15.00	・遺構、遺物なし	—	
85	11月29日	引間町字青木981の一部(H区画)	個人住宅建設 (浄化槽設置)	293.56	2.20	・遺構、遺物なし	—	

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査結果	遺構面までの 深さ (cm)	備考
86	12月28日	貝沢町字井野前345-1, 345-2の一部	個人住宅建設 (基礎掘削)	1,023.80	—	・遺構なし ・五輪塔の一部出土	—	
87	12月1日	引間町字小地983-3, 1490-1の一部 (I区画)	分譲住宅建設 (浄化槽設置)	317.48	1.92	・遺構、遺物なし	—	
88	12月7日	引間町字青木951-12	木造1階建て事務所(1棟) 建設	250.49	3.20	・遺構、遺物なし	—	
89	12月8日	柴崎町2140-1	木造平屋建て個人住宅 建設	535.00	119.40	・遺構なし ・礎石1点	—	
90	12月11日	吉井町塩川字下北原150-2	木造平屋建て建設	296.09	10.00	・遺構、遺物なし	—	
91	12月12日	上室田町字追分5309-1	太陽光発電設備建設	1,057.00	1.00	・遺構、遺物なし	—	
92	12月13日	後定間町字扇敷廻り16-1	木造平屋建て個人住宅 建設	555.15	2.94	・遺構、遺物なし	—	
93	12月13日	飯塚町字丸屋敷710-5	個人住宅建設	402.48	—	・遺構、遺物なし	—	
94	12月14日	上中居町字辻薬師1648-4	個人住宅建設(地盤改良)	172.24	6.60	・溝 ・古墳前～中築土師器片、 縄文中期鉢片	—	
95	12月15日	引間町字七の宮1126の一部 (B区画)	分譲住宅建設	317.40	2.80	・遺構、遺物なし	—	
96	12月19日	引間町字七の宮1117, 1495, 1149の一部 (E区画)	分譲住宅建設	283.45	2.94	・遺構、遺物なし	—	
97	12月20日	下黒見町字北村406-8 ①T97 ②T97-② 2箇所	個人住宅建設	① 144.32 ② 301.19	10.00 12.00	・遺構、遺物なし	—	
98	12月21日	新保町字田替水	老朽化した水路の入れ替え	431.00	400.00	・遺構、遺物なし	—	
99	12月22日	引間町字七の宮1149, 1195の 一部 (D区画)	個人住宅建設 (浄化槽設置)	312.81	2.80	・遺構、遺物なし	—	
100	12月22日	吉井町池字粕田1124-1	木造平屋建て個人住宅 建設	346.34	—	・遺構面まで到達せず	—	
101	12月25日	引間町字青木981の一部 (I区画)	分譲住宅建設	332.67	3.57	・遺構、遺物なし	—	
102	12月27日	引間町字七の宮1126の一部 (A区画)	分譲住宅建設 (浄化槽設置)	316.44	2.94	・遺構なし ・土師器、須恵器片各1点	—	
103	12月28日	金古町如來789-1	分譲住宅建設(擁壁設置)	1,053.00	—	・遺構、遺物なし	—	

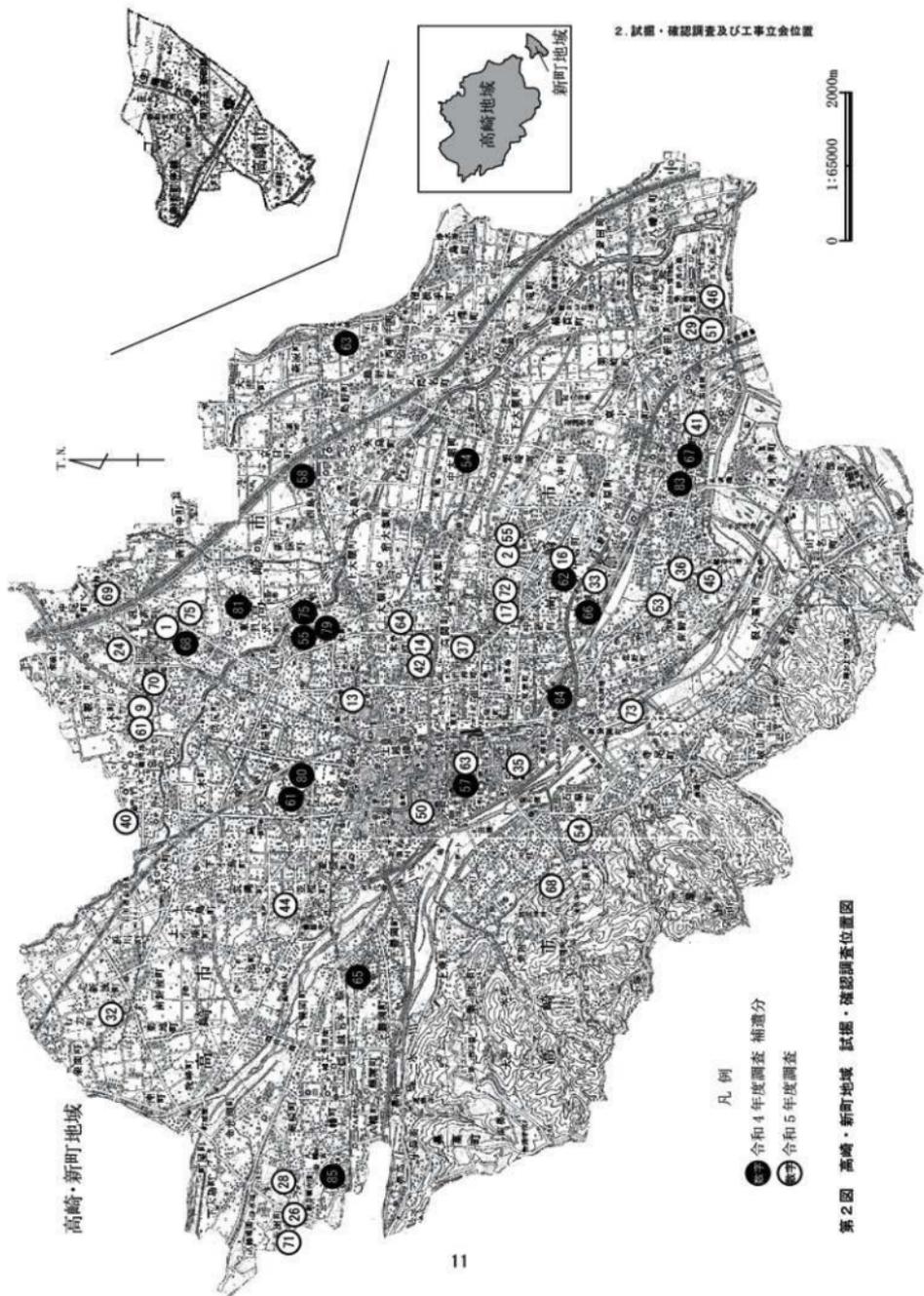
2. 試掘・確認調査及び工事立会位置

高崎市位置



1:360,000

第1図 高崎市域位置図



2. 試験・確認調査及び工事立会位置

凡例

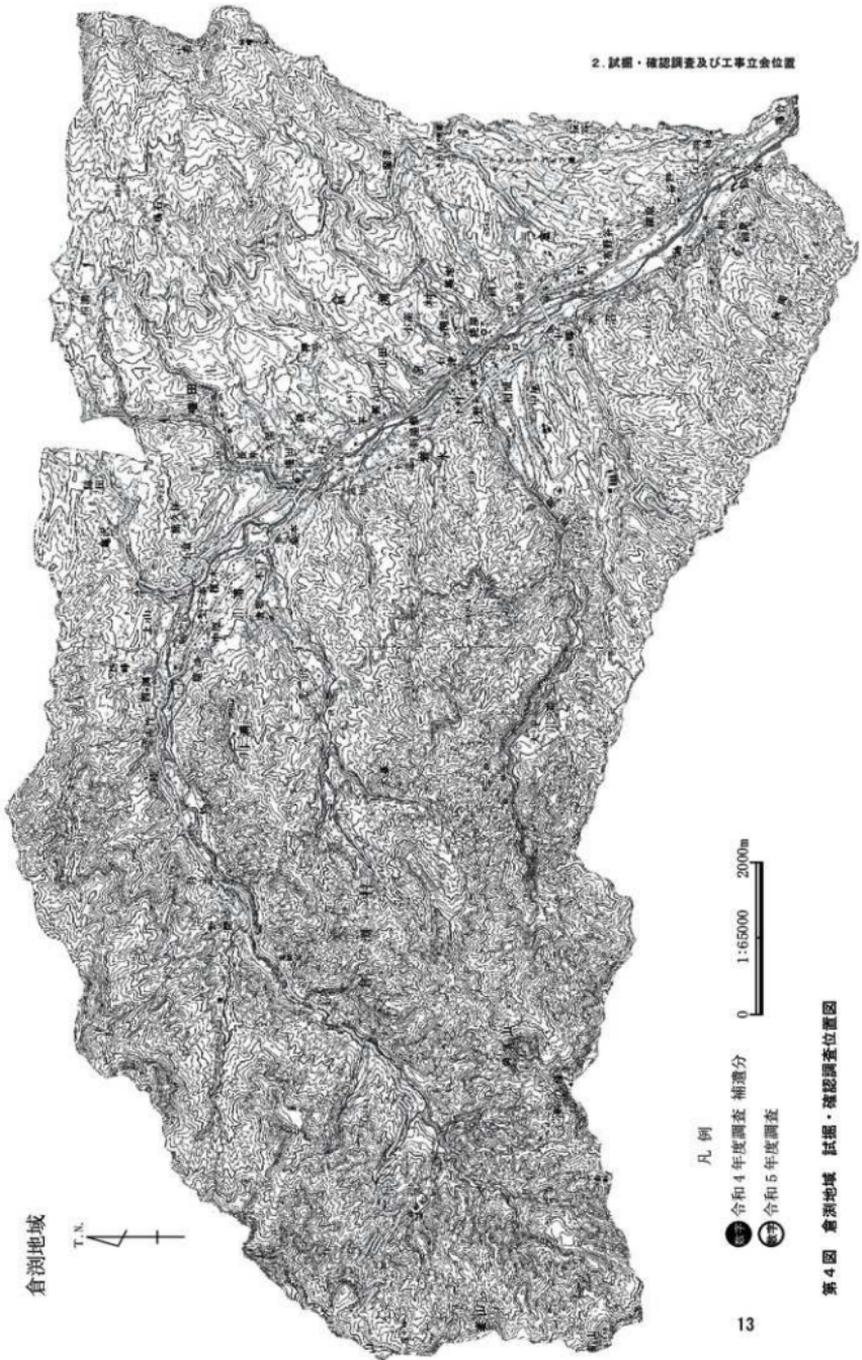
- 令和4年度調査 補測分
- ◐ 令和5年度調査

第2図 高崎・新町地域 試験・確認調査位置図

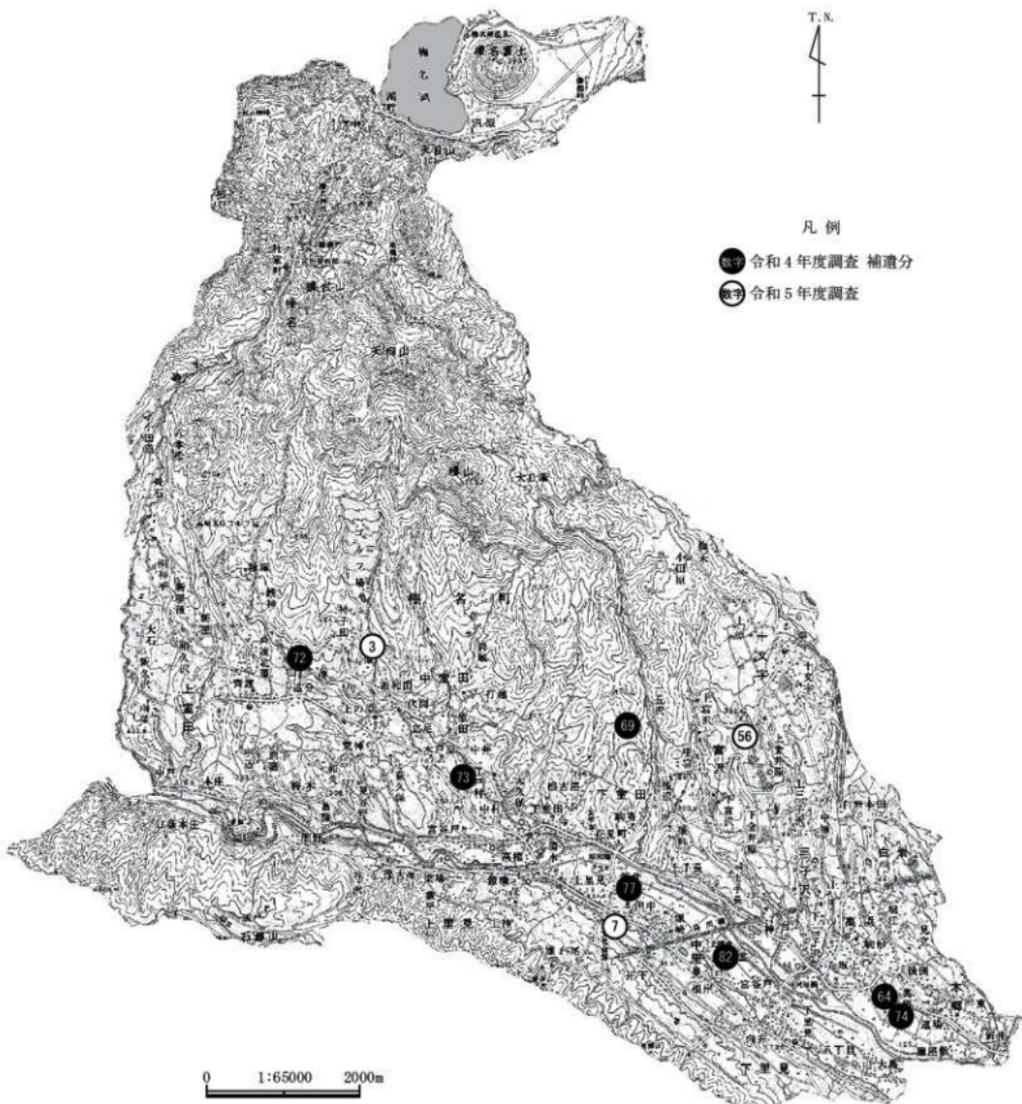
箕郷・群馬地域



第3図 箕郷・群馬地域 試験・確認調査位置図



榛名地域



第5図 榛名地域 試掘・確認調査位置図

## 吉井地域



第6図 吉井地域 試掘・確認調査位置図

## 3. 試掘・確認調査の概要

## (1) R4-55 貝沢町字紺屋戸 1503-1他

・調査日 令和5年1月16日

【環境】 調査地は井野川右岸に位置し、地質的には榛名山東南の砂礫やローム等の山麓堆積物層上にある。調査地の標高は現況で92m付近となる。南東300mの上大類北田遺跡（高崎市立東部小学校）でAs-B下水田が調査されている。また、西350mに五霊神社古墳、南400mには貝沢柳町遺跡などの遺跡が分布する。

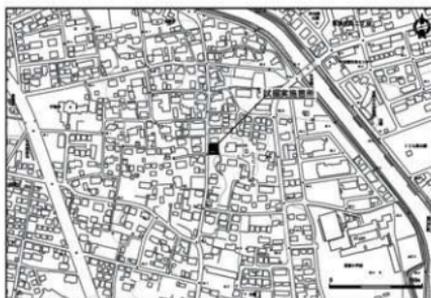
【結果】 計画建物範囲を対象に、建物長軸に合わせて東西方向にトレンチを設定して調査を実施した。

**土層** 調査地の堆積土層は、砕石（Ⅰ層）の下はGL-100cmまでおよぶ造成土層（Ⅱ層）があり、現代ゴミなどが含まれる。Ⅱ層の下には地山となる明黄褐色シルト層（Ⅲ層）がある。Ⅱ層下位にAs-Aがわずかに混入するが、明確なテフラ層は確認できなかった。

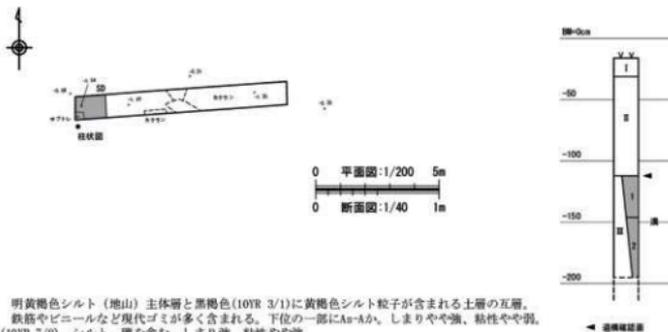
**1 トレンチ** 調査区西端において、GL-100cmで検出される地山明黄褐色シルト層（Ⅲ層）より掘り込まれている溝1条を検出した。調査対象地の西を南北に走向する道路と同主軸と考えられる。検出幅は1.3mだが、遺構は調査区外西へと延びるため、本来は計測値以上の幅があるものと考えられる。遺構の深さは遺構確認面から80cm以上あり、手掘りのサブトレンチでも遺構底部に到達しなかった。

遺構埋土の一部にはAs-Bと推測される軽石粒子が混入することから、As-B降下以後の遺構と推測される。また、陶磁器類の小片も出土することもテフラの観察結果と齟齬をきたさない。

遺構の性格については明らかにし難いが、As-B降下以後の構築であり、幅や深さなどの遺構規模を勘案すると、中世の堀などの城館遺構を推定することに無理はない。付近では、北西400mに貝沢東新井屋敷、西500mに塚越屋敷など戦国期の城館が想定されていることもあり、当該遺構もこれら城館跡と関連する可能性がある。（山本）



第7図 R4-55 貝沢町 調査区位置図



第8図 R4-55 調査区平面図・柱状図

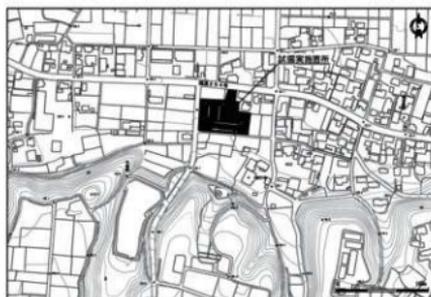
## (2) R4-56 吉井町長根字宿 1648-1他

・調査日 令和5年1月17日

【環境】 鎌川右岸の河岸段丘に位置し、地質的には砂礫やローム層上にある。調査地の標高は現況で135m付近となる。調査地の南200mにある悪行寺古墳を中心に南方の段丘上には古墳が群在する。

## 【結果】

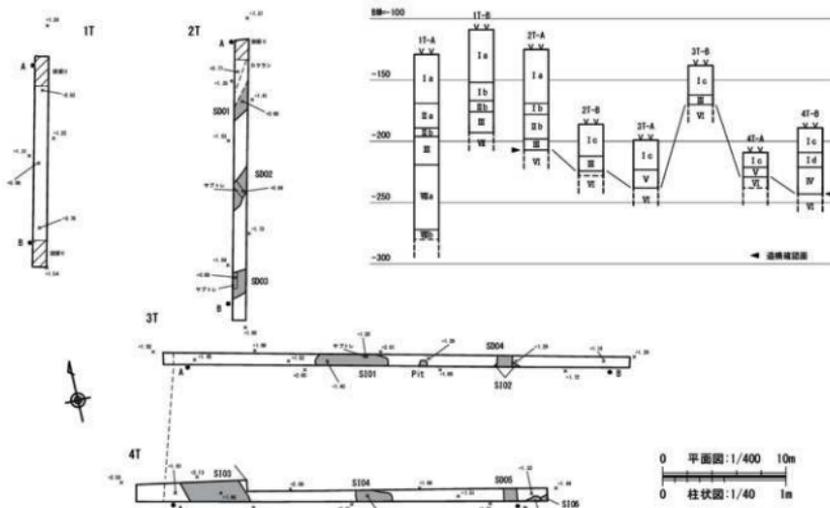
- 1 トレンチ 遺構の検出はなかった。  
 2 トレンチ 溝3条を検出した。溝は北東-南西を主軸としており、埋土にAs-Bを含まない。  
 3 トレンチ 竪穴建物2軒および溝1条、土坑1基を確認した。SI01は弥生時代後期～古墳時代前期と推定される。SI02はSI01と遺構主軸の傾きが似ることから近接した時期の遺構と推測される。  
 4 トレンチ 竪穴建物4軒および溝1条を検出した。SI03は確認面から遺構底面まではわずかである。遺構検出範囲全体に炭化物が散見され、中央やや北寄りに焼土が確認できた。地床炉をもつ竪穴建物と考えられる。また、SD05は位置や主軸の傾きから3トレンチのSD04と同一遺構となることが考えられる。(山本)



第9図 R4-56 吉井町長根 調査区位置図

## ○基本土層

- I a にぶい黄褐色(10YR 5/4) 表土、現耕作土。As-A混。しまり強、粘性弱。  
 b にぶい黄褐色( # 5/3) As-A混。しまり強、粘性弱。  
 c 黒色( # 2/1) 表土。バツバツ。しまり弱、粘性弱。  
 d 黒褐色( # 3/1) As-A混。しまりやや強、粘性やや強。  
 II a 暗褐色( # 3/3) As-B混。黄褐色シルト(φ1~2cm 3%)。しまり強、粘性弱。  
 b 黒褐色( # 3/1) As-B混。しまり強、粘性やや弱。  
 III 黒褐色( # 3/2) 粘質土。褐色粒子(鉄分)。φ3~5mm 5%)。黄褐色粒子(φ2~3mm 3%)。しまり強、粘性とても強。  
 IV 黒色( # 2/1) As-C混入。As-IP含む。黄褐色シルト(φ3~5mm 10%)。しまり強、粘性やや強。  
 V 黒色( # 2/1) As-Cを含まない。しまりやや強、粘性弱。  
 VI にぶい黄褐色( # 5/4) 礫移層。しまり強、粘性やや強。  
 VII 明黄褐色( # 6/8) シルト。しまり強、粘性強。  
 VIII 灰黄褐色( # 4/2) 粘質土。褐色粒子(鉄分)。φ3cm 10%)。白色粒子(φ2~3cm 3%)。黄褐色粒子(φ2~3mm 3%)。しまり強、粘性とても強。  
 b 浅黄褐色( # 8/3) 粘質土。やや軟質。しまりやや強、粘性とても強。



第10図 R4-56 調査区平面図・柱状図

- (3) R4-69 下室田町字駒寄 2950, 2952他  
・調査日 令和5年2月9・14日

【環境】 榛名山麓から続く山地地形上に立地する。調査地の標高は現況で340～350m付近であり、北から南方向に傾斜をもつ。

### 【結果】

1 トレンチ トレンチ東半では、現地表下20cmほどの硬質ローム層（Ⅶ層）上面で土坑や溝状のシミを確認した。トレンチ西半では削平が進み、遺構は確認できなかった。遺物は表土中から縄文土器片が少量出土している。



第11図 R4-69 下室田町 調査区位置図

2 トレンチ トレンチ東端では、現地表下20～25cmでAs-C混土（Ⅲ層）およびAs-C層（Ⅳ層）が一部残存しており、土層断面にてAs-C混土を埋土にもつ古墳時代以降の畚のサクを2～3条分確認した。

さらに、トレンチ東半部では現地表下50cmの褐色土層（Ⅵ層）にて古代以前の土坑やピットを検出した。また、遺構確認面からは長さ5cm以上の黒曜石が出土した。トレンチ西半では現地表下30cmにて加曾利E系の縄文土器の包含層を検出した。

3 トレンチ 現地表下15cmでAs-Bを多く含む混土層が認められたが、遺構はその下層の黄褐色土層（Ⅶ層）上面（現地表下35～40cm）で土坑やピットを少量確認した。埋土にはAs-Bが含まれないため、時期は古代以前と考えられる。

4 トレンチ トレンチ全体でAs-C混土（Ⅲ層）およびAs-C軽石層（Ⅳ層）が良好に残存していたため、遺構確認は現地表下40～60cmのAs-C軽石層上面で行った。トレンチ全体にはAs-C混土を埋土にもつ不整形の土坑状のシミが認められ、深さは35cm程度であった。遺物は出土していないが、埋土から古墳時代以降の掘りこみと想定される。なお、トレンチ西半の一部には現地表下32cmほど、厚さ15cmのAs-B軽石層が認められたが、遺構は確認されなかった。

5 トレンチ 現地表下30cmでAs-C混土層とAs-C軽石層が広範囲に残存していたが、縄文時代の遺構の有無を確認するために、30～40cm掘り下げ、褐色土層（Ⅵ層）上面で遺構確認を行った。トレンチ西端では現地表下60～70cmで縄文土器片が混じる土坑を複数検出した。また、トレンチ東半の土層断面の観察から現地表下32cmで古墳時代以降の畚のサクを3条以上確認した。（南雲）

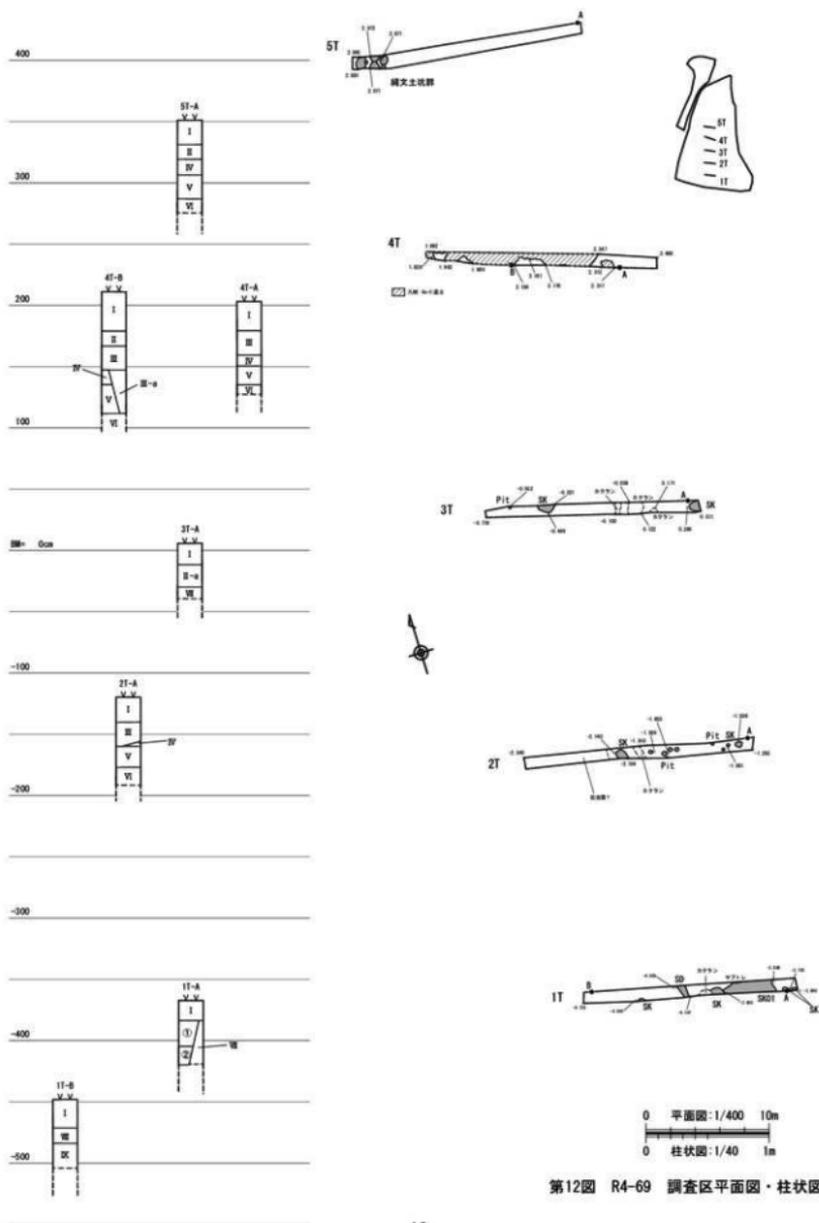
#### ○基本土層

- |                      |   |
|----------------------|---|
| I 表土                 | As-B混。バサバサ。しまり弱、粘性弱。                          |
| II 灰黄褐色 (10YR 6/2)   | As-B軽石層。降下ユニットあり。一次堆積層。しまりやや弱、粘性弱。            |
| IIa 黒褐色 (10YR 3/2)   | As-B混。As-Bの密度高い。しまりやや強、粘性弱。                   |
| III 黒色 (10YR 2/1)    | As-C混。As-C(φ2～6mm)やや少。しまり強、粘性弱。               |
| IIIa 黒褐色 (10YR 2/2)  | As-C混。Ⅲ層よりAs-Cの粒が大き(φ2～8mm)やや多く混入する。しまり強、粘性弱。 |
| IV 黄褐色 (10YR 5/6)    | As-C軽石層。褐色味をおび。φ2～4mm主体。一次堆積層と推定。しまりやや強、粘性弱。  |
| V 黒色 (10YR 2/1)      | As-C含まず。橙色粒子少。しまり強、粘性弱。                       |
| VI 褐色 (10YR 4/4)     | 地山。橙色粒子少。しまり強、粘性やや弱。                          |
| VII 黄褐色 (10YR 5/6)   | 硬質ローム。しまり強、粘性弱。                               |
| VIII 明黄褐色 (10YR 6/6) | As-T層。しまり強、粘性弱。                               |
| IX 明黄褐色 (10YR 7/6)   | 硬質ローム。白色軽石(大径沢?)少。しまり強、粘性強。                   |

#### ●遺構埋土

- ① 黒褐色 (10YR 2/2) 黄褐色土粒やや少。しまり強、粘性弱。
- ② 黒褐色 (10YR 2/2) 黄褐色土ブロック(φ2～5cm)やや少。しまり強、粘性弱。

R4-69 柱状図土層観察所見



第12図 R4-69 調査区平面図・柱状図

## (4) R4-74 本郷町字奥原 716-1, 716-11

・調査日 令和5年2月15日

【環境】 南西300mに南東流する烏川の左岸、榛名山南東麓の山麓堆積物層上にあり、標高は現況で173~174m付近となる。調査地は60基を越す円墳が確認された本郷塚中古墳群（奥原古墳群）の東にあり、調査地点より西30mには奥原53号墳が所在する。

【結果】 掘削した3本のトレンチでそれぞれ竪穴建物を検出し、合計5軒を確認した。

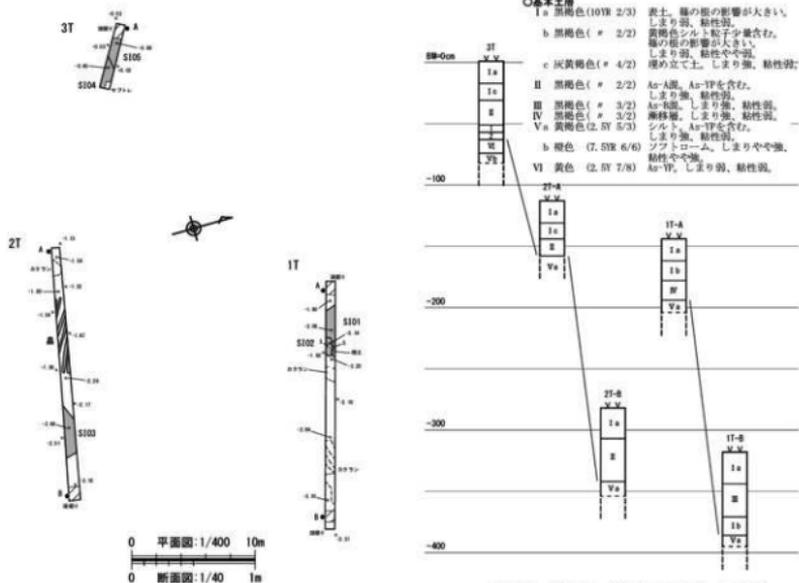
1 トレンチ S101は東端に焼土が見られ、煙道状に張り出すことからカマドが存在することが想定される。S102はS101に先行する遺構と考えられ、S101に大部分を切られるために部分的な確認となるが、2石の並ぶ礎が露出しており、カマドの一部であることが推定される。土師器断片が出土しており、古墳時代~平安時代の年代が考えられる。

2 トレンチ 竪穴建物は一边が4m以上を測り、遺構確認面から底面までは20~30cmである。カマド等は未確認である。建物内西寄りでは長胴甕の胴下半~底部が直立した状態で出土し、甕を取り除いたところ、甕の下から土師器杯が正位の状態出土した。杯を土台に長胴甕を重ねて自立させていたものと考えられる。杯の年代から7世紀代の竪穴建物跡と推測される。

3 トレンチ 底面レベルが異なる2基の遺構が重複しているが、いずれも土師器類が出土すること、遺構底面がフラットであることから、2軒の重複する竪穴建物と推定される。（山本）



第13図 R4-74 本郷町 調査区位置図



第14図 R4-74 調査区平面図・柱状図

## (5) R4-76 三ツ寺町字出水端 510地

・調査日 令和5年2月16日

【環境】 調査地は榛名山東南麓の井野川右岸に所在し、榛名山方面から南東方向に走行する谷（古代以前）の東側に立地する。調査地の標高は現況でおよそ126mとなる。調査地付近には三ツ寺Ⅰ遺跡や国史跡保渡田古墳群を含め多くの遺跡が所在しており、調査地の東80mには三ツ寺Ⅱ遺跡、さらに東側には桁街道Ⅱ遺跡があり、古墳時代中期から平安時代（10世紀）の集落が確認されている。

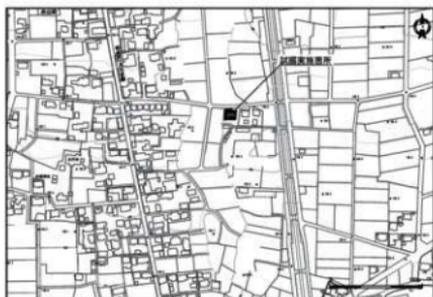
## 【結果】

## 1 トレンチ 現地地表下40cmでAs-C含む黒色土

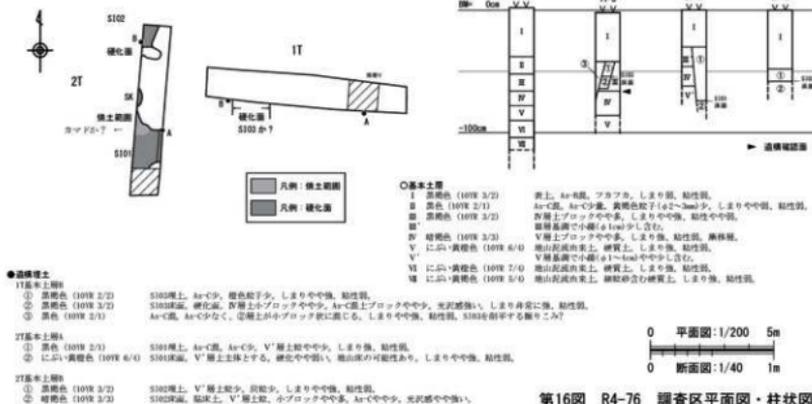
（Ⅱ層）を検出したが、遺構確認が困難であったため、さらに下層の漸移層（Ⅳ層）上面を調査面とした。遺構は平面では検出できなかったが、トレンチ東端の南壁土層断面にて約1.5mの範囲にわたる硬化面を確認した。硬化面はトレンチの北壁では確認できなかったが、硬化面がほぼ平坦であることから竪穴建物の床面（SI03）と推定される。なお、検出した硬化面の西端はAs-C混の掘りこみにより削平されており、SI03に伴う掘りこみは確認できなかった。SI03の遺構検出面は現地地表下40cmの黒褐色土層（Ⅲ層）上面であり、床面までの深さは14cmであった。遺物の出土はなく、遺構の時期は不明である。

## 2 トレンチ 現地地表下50～60cmの漸移層（Ⅳ層）および地山硬質土（Ⅴ層）を調査面とし、遺構は竪穴建物2軒、土坑1基を検出した。SI01はトレンチ南端に位置し、遺構検出面は現地地表下30cmの黒褐色土層（Ⅲ'層）上面で、床面までの深さは44cmであった。SI01は北壁にカマドを有し、断削では柱穴と思われる円形のシムも確認した。遺物の出土は土師器の小破片のみであり、遺構の時期はおおよそ古墳時代後期～平安時代と推定される。

SI02はトレンチ北端に位置し、遺構検出面は現地地表下48cm、床面までの深さは8cmであった。SI02の床面は貼床により硬化が強く、南東隅にはカマドと推定される焼土を含んだ張り出しが確認できた。遺物は土師器、須恵器の小破片が出土しており、遺構の時期は奈良～平安時代頃と推定される。（南雲）



第15図 R4-76 三ツ寺町 調査区位置図



第16図 R4-76 調査区平面図・柱状図

## (6) R4-79 貝沢町字稻荷塚 1206-3

・調査日 令和5年2月20日

【環境】 井野川右岸に位置し、地質的には榛名山東南の砂礫やローム等の山麓堆積物層上にある。標高は現況で93m付近となる。調査地の東400mの上大類北田遺跡でAs-B下水田が調査されているほか、北西250mに五霊神社古墳、南東300mには貝沢柳町遺跡などの遺跡が分布する。

## 【結果】

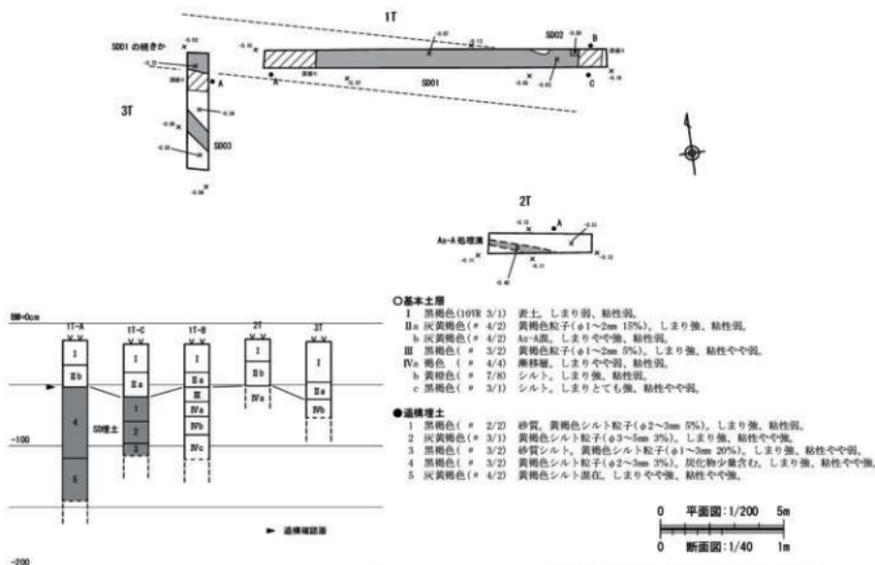
1 トレンチ 調査区とほぼ重なるように東西主軸の大型溝(SD01)を検出した。調査区の東側では北より南北走向の溝1条(SD02)が延びてきてSD01とぶつかる。

2 トレンチ SD02の続きが検出できなかったため、SD01を突き抜けずに合流する可能性が考えられる。3 トレンチでは北側でSD01の南側立ち上がりを確認し、これによりSD01の幅は3.5mと推定できる。1 トレンチ西端の深掘り部分では遺構確認面より90cm、現地表下130cm以上は下がるが、遺構底面を検出できず正確な深さについては不明である。深掘り断面の下位層には地山黄褐色シルト粒子が多量に混在することから遺構底面まではほぼ深くないことが想定されるため、遺構の深さは概ね現地表下150cm前後と考えられる。遺構埋土中より中世陶器や内耳鍋片が出土することから、中世期の遺構である可能性が考えられる。その他、2 トレンチではAs-A混土を含む溝(As-A処理溝)を検出した。

3 トレンチ 1 トレンチのSD01の南側立ち上りを検出した他、やや主軸を異にするSD03を検出した。遺物の出土はないためSD01との関連は不明である。(山本)



第17図 R4-79 貝沢町 調査区位置図



第18図 R4-79 調査区平面図・柱状図

## (7) R5-2 中居町一丁目 19-1

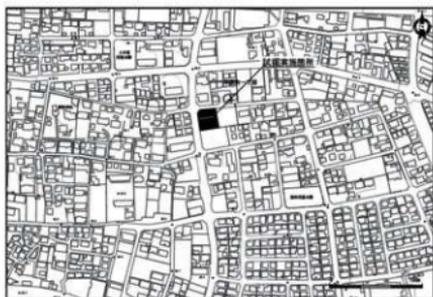
・調査日 令和5年4月6日

【環境】 南西約2kmに南東流する鳥川の左岸、高崎台地上に位置し、標高は現況で88～89m付近となる。調査地の北西100mには古墳時代前期の方形周溝墓がある中居町一丁目遺跡4、北西200mに古墳時代前期～中期を中心とした集落を調査した中居町一丁目遺跡5がある。

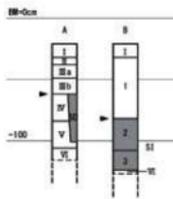
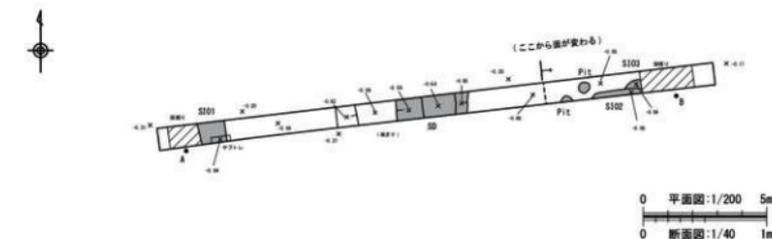
【結果】 表土（I層）、As-A混土層（II層）、As-B混土層（III層）がそれぞれあり、以下にはAs-Cが含まれる黒色粘質土層（IV層）、As-Cを含まない黒褐色粘質土層（V層）、地山の明黄褐色シルト層（VI層）が標準土層となる。IV層より土師器片などが出土するため、同層上面にて遺構確認を実施した。

トレンチ西端で竪穴建物1軒（SI01）、東端で2軒（SI02・03）を検出した。遺構検出面はSI01がGL-45～50cm（BM-65～70cm）、SI02がGL-65cm（BM-85cm）となる。SI01・02は埋土に焼土粒子や炭化物を含み、SI01は土師器片も多数出土する。遺物の様相から平安時代の竪穴建物と推定される。

そのほか、トレンチ中央付近で南北に走向する畦畔状の高まり1条を検出した。高まりの東側にはAs-Bテフラが少量残存している。地形的には東側へとやや下がるため、同高まりより東側に水田域が展開していた可能性が考えられる。（山本）



第19図 R5-2 中居町一丁目 調査区位置図



## ○基本土層

- I 黒褐色(10YR 3/2) 表土。現代耕作土。しまり弱、粘性弱。
- II 褐灰色( # 4/1) As-A混。しまり強、粘性弱。
- III 灰黄褐色( # 4/2) As-B混。炭化物を少量含む。しまり強、粘性弱。  
b 黒褐色( # 3/3) As-B混。黄褐色粒子含む。しまり強、粘性弱。
- IV 黒色( # 2/1) As-C混。炭化物、遺物を含む。しまりやや強、粘性やや強。
- V 黒褐色( # 3/2) 粘質土。軽石状粒子を含む。しまりやや強、粘性強。
- VI 明黄褐色(2.5Y 7/6) シルト。As-YPを含む。しまり強、粘性弱。

## ●遺構埋土

- 1 黒褐色(10YR 3/1) カクラン。黄褐色土ブロック多く含む。キャクビツ痕あり。しまり強、粘性弱。
- 2 黒色( # 2/1) 粘質土。焼土含む。しまり強、粘性強。
- 3 黒色( # 2/1) 黄褐色粒子(φ2～3mm 10%)。焼土含む。しまり強、粘性強。

第20図 R5-2 調査区平面図・柱状図

## (8) R5-6 菅谷町字村東 20-103

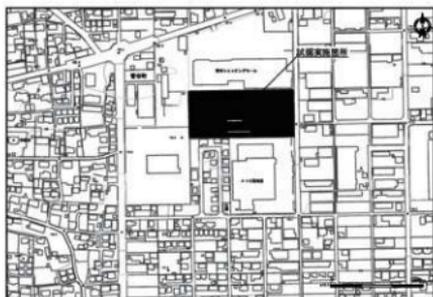
・調査日 令和5年4月13日

【環境】 榛名山東南麓の扇状地形に立地し、標高は現況で120m前後となる。北に菅谷村東遺跡1～3・6次、北東に同遺跡4次、南西には同遺跡5次の各調査がなされ、8～10世紀の堅穴建物を中心とした古代の集落のほか、縄文時代や中世の遺物が確認されている。

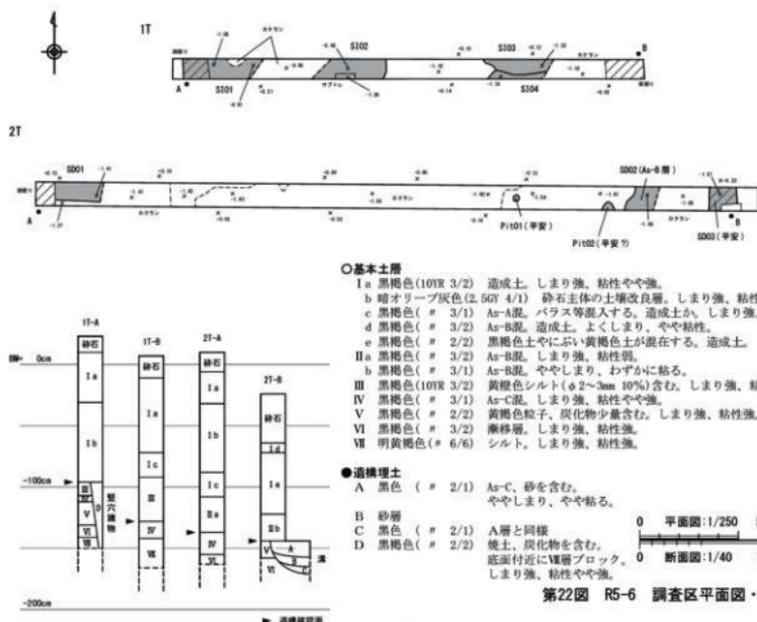
【結果】 砕石層下は造成土（I層）が概ね120cmまでおよび、以下にAs-B混土層（II層）黒褐色土（III層）、As-C混土層（IV層）、漸移層（VI層）、明黄褐色シルト層（VII層）となる。

1 トレンチ GL-100～120cmまで及び造成土（I層）を除去すると、As-Bを含まない黒褐色土層（III層）があるが、I層の影響がところどころIII層まで及んでいたため、遺構確認を円滑に行うためAs-C混黒色土層（IV層）まで掘削し、同層を遺構確認面とした。その結果、堅穴建物4軒を検出した。いずれも土師器を主体とする須恵器片の出土がある。これら遺物は平安期と想定されるため、当該堅穴建物はいずれも平安時代の遺構と推定される。

2 トレンチ GL-120cmまで及び造成土（I層）を除去し、As-C混黒色土層（IV層）を遺構確認面とした。その結果、溝3条およびピット2基を検出した。出土遺物は平安期に属するものであるため、当該遺構は平安時代と想定される。（山本）



第21図 R5-6 菅谷町 調査区位置図



## (9) R5-7 上里見町字田中 1-20他

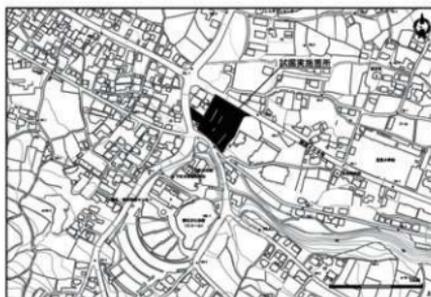
・調査日 令和5年4月17日

【環境】 榛名山南麓の室田火砕流により形成された里見台地と烏川中位段丘との地形変換点に位置し、標高は現況で190～192mとなる。東500m付近に里見V-2古墳群が展開しており、上里見新井遺跡では古墳周堀が調査されている。

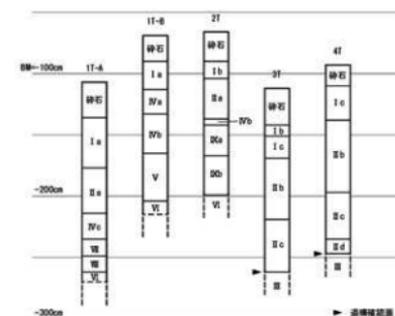
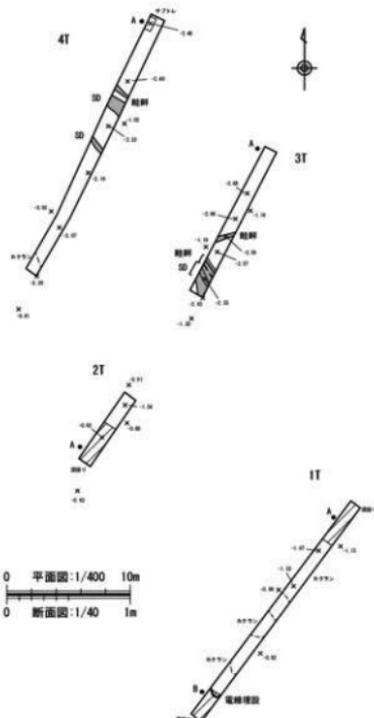
【結果】 砕石層下は造成土、以下にはAs-B混土層（II層）が各トレンチで観察される。斜面上位となる南寄りには部分的にAs-C混土黒色土層が残存するが、北半については地形が大きく下がり、As-Bテフラが明瞭に残存する。

3 トレンチ 南端で旧地形が北に大きく落ち込み、以降北へとAs-Bテフラが厚く堆積している。南端付近ではAs-Bによって埋まった南北軸の溝と、同溝の東側に接した土手状の畦畔が検出された。また、トレンチ中央付近では東西方向の畦畔1条も確認できた。遺構検出高はGL-140cm（BM-260cm）となる。

4 トレンチ 中央にAs-Bに埋まった溝1条があり、北東側には畦畔が検出された。遺構検出高は畦畔頂部でGL-120cm（BM-220cm）となる。（山本）



第23図 R5-7 上里見町 調査区位置図



## ○基本土層

- I a 砕石と礫が主体の造成土。しまり強、粘性弱。  
 b 黒褐色(10YR 2/1) 造成土。しまり強、粘性弱。  
 c に近い黄褐色(# 4/2) As-B, As-Cを含む。しまり強、粘性弱。  
 II a 黒褐色(# 3/2) 自然成路の堆積物。As-B, As-C, 砂を含む。しまり強、粘性弱。  
 b 黒褐色(# 2/3) As-C混。As-C, 炭化物を含む。しまり強、粘性弱。  
 c 黄褐色(# 5/6) As-B, 水の影響小層下位のユニットは不明瞭。一次堆積に準ずる濃しまり弱、粘性弱。  
 d 黒褐色(# 3/2) 砂礫。しまりやや強、粘性弱。  
 III 黒褐色(# 3/1) 粘質土。しまりやや強、粘性弱。  
 IV a 黒褐色(# 2/2) As-C混。黄褐色粒子( $\phi$  2~3mm 5%)。しまり強、粘性強。  
 b 黒色(# 2/1) As-C混。黄褐色粒子( $\phi$  2~3mm 10%)。しまり強、粘性やや強。  
 c 黒褐色(# 3/1) 粘質土。As-Cを含む。しまり強、粘性強。  
 V 黒褐色(# 3/2) 粘質土。鉄分沈着。しまり弱、粘性強。  
 VI 灰黄褐色(# 5/2) 粘質土。しまりやや強、粘性強。  
 VII に近い黄褐色(# 4/3) 粘質土。しまり強、粘性やや強。  
 VIII 黒色(# 2/1) 硬質の粘質土。しまりとても強、粘性強。  
 IXa 黒褐色(# 3/1) 粘質土。しまり強、粘性強。  
 b 灰黄褐色(# 4/2) 粘質土。砂を含む。しまり強、粘性強。

第24図 R5-7 調査区平面図・柱状図

## (10) R5-9 小八木町字宅地添 1836-1他

・調査日 令和5年4月21日

【環境】 井野川左岸に位置し、榛名山東南の砂礫やローム等の山麓堆積物層上にある。標高は現況で101m付近となる。調査地の南方には小八木宅地添遺跡があり、北側には正観寺遺跡が展開する。

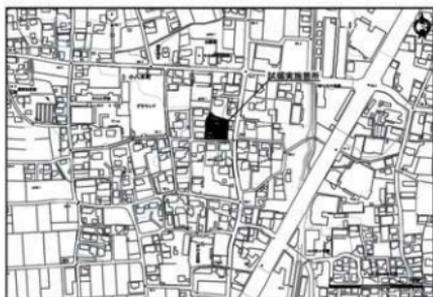
## 【結果】

1 トレンチ As-Cを含む黒色土層(Ⅲ層)上面を確認面として遺構精査を行った結果、1 トレンチ西端で竪穴建物1軒(SI01)および中央東寄りで1軒(SI02)を検出した。遺構確認面の深度はBM+19~22cmとなる。

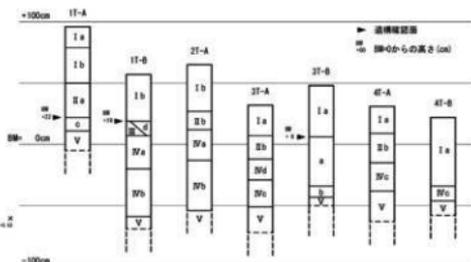
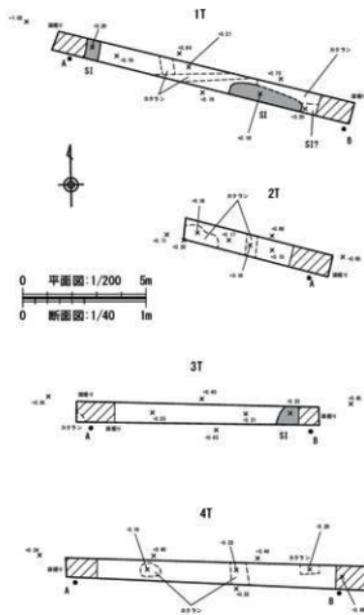
SI01からはS字状口縁付甕の胴部片が出土することから、古墳時代前期の遺構と推定される。SI02は埋土がSI01と類似することから、SI02についても古墳時代の遺構である可能性が考えられる。

3 トレンチ As-Cを混入しない粘質土層(Ⅳ層)上面を中心に遺構精査を実施した結果、トレンチ東端で竪穴建物1軒を検出した(SI03)。出土遺物の様相から、当該遺構は平安時代に属するものと推定される。遺構検出面の深度はBM+6cmとなる。

(山本)



第25図 R5-9 小八木町 調査区位置図



## ○基本土層

- I a 灰黄褐色(10YR 4/2) 黄土。As-Bの砂が混入する。しまり強、粘性やや弱。  
 b 灰黄褐色( # 4/2) 埋め立て土(既存建物解体時)。As-B、炭化物を含む。しまりやや強、粘性弱。
- II a 黒褐色( # 3/2) As-B混。しまりやや弱、粘性弱。  
 b 黒褐色( # 3/2) As-B混。粘質土。黄褐色粒子、炭化物を含む。しまりやや強、粘性やや強。
- III 黒色( # 2/1) As-C混土褐色土。しまり強、粘性やや弱。
- IV a 黒色( # 2/1) As-Cが混入しない。硬質化している。しまり強、粘性強。  
 b 黒褐色( # 3/2) 粘質土。上位にV層ブロックが混じる。しまり強、粘性強。  
 c 黒褐色( # 3/1) 粘質土。黄褐色粒子、炭化物を含む。しまり強、粘性やや強。  
 d 黒褐色( # 3/1) 粘質土。黄褐色粒子を多く含む。しまり強、粘性やや強。  
 V 黄橙色( # 8/6) 粘質シルト。しまり強、粘性強。

## ●遺構埋土

- a 黒色( # 2/1) As-C混。層上位にはAs-Bの砂が混入する。明黄褐色粒子(φ1~2mm 10%)、炭化物、焼土を含む。土師器片が出土。しまり強、粘性やや弱。
- b 黒褐色( # 2/2) 粘質土。As-Cを少量含む。土師質土器片が出土。しまり強、粘性強。
- c 黒色( # 2/1) As-C混。V層ブロックを含む。S字片が出土。しまり強、粘性やや強。
- d 黒褐色( # 3/1) As-Cを含む。竪穴建物等遺構埋土。しまり強、粘性やや弱。

第26図 R5-9 調査区平面図・柱状図

## (11) R5-19 中泉町字十王堂 81-1他

・調査日 令和5年5月25日

【環境】 榛名山東南麓の井野川支流唐沢川左岸に立地する。標高は現況で122m前後となる。調査地の西方で平安時代集落が調査された中泉十王堂遺跡がある。

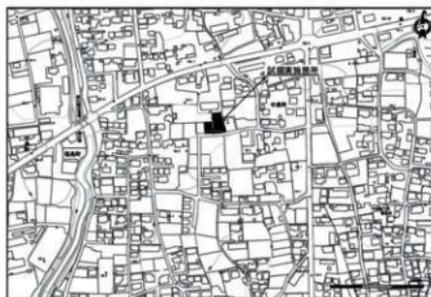
## 【結果】

1 トレンチ 遺構確認面はV層上面で、GL-46～50cm (BM+5～6cm) となる。1 トレンチ北側では後世の掘削を受けている箇所があるが、トレンチ中央から南側では畝の間溝と推測される北西→南東走向の細い溝3条を検出した。

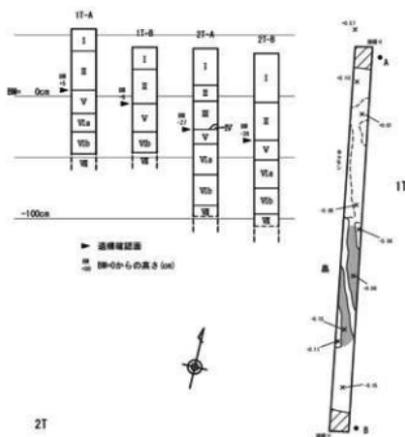
2 トレンチ 遺構確認面はV層上面で、GL-66～71cm (BM-27～-36cm) となる。トレンチの西側より、南北走向の細い溝が並行して10条ほど検出され、トレンチ中央付近および東側でも間隔がまばらながらも多数が検出されている。1 トレンチ同様これは畝遺構の間溝と考えられる。トレンチ西端の土層断面でも畝および畝間溝が観察され、平面検出の遺構と符号する。

2 トレンチ中央付近には竪穴建物3軒がある。各竪穴建物の深さは遺構検出面から概ね20～50cmとなる。土層断面で観察される畝遺構を覆う黒褐色土層(Ⅲ層)は、As-Cは混入するがAs-Bを含まず、色調はやや黄色味がかかる。Hr-FAの影響を受けているものと推測されるため、Ⅲ層の形成は6世紀以降と推定される。畝遺構はⅢ層の下層より検出されるため、畝遺構はⅢ層形成以前と考えられる。

一方、竪穴建物の埋土はⅢ層と類似するが遺構内部にはHr-FAは見られないため、遺構の構築や廃絶は少なくともHr-FA降下以後であろう。したがって竪穴建物は6世紀以降の遺構と推定される。これらの前後関係は、一部で畝遺構と竪穴建物跡が重複することとも矛盾しない。(山本)



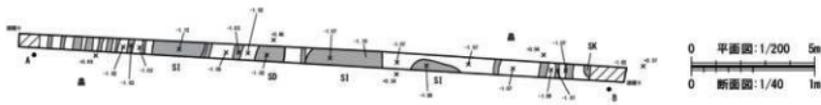
第27図 R5-19 中泉町 調査区位置図



27

## ○基本土層

- I 黒褐色(10W 3/2) 表土。As-B混。しまり弱、粘性弱。  
 II 暗褐色( # 3/3) As-B混。やや砂質。しまり弱、粘性弱。  
 III 黒褐色( # 3/2) As-C混。黄褐色粒子(φ1～2mm 3%)。As-Bを含まない。しまりやや強、粘性やや強。層の色調等からHr系テフラ由来の層と推定。  
 IV 黄褐色( # 8/8) Hr-FA混。ブロック状で検出。しまりやや強、粘性弱。  
 V 黒色( # 2/1) As-C混土黒色土(いわゆるC黒)。しまりやや強、粘性やや弱。  
 VIa 黒褐色( # 2/2) As-Cを含まない。しまりやや強、粘性やや弱。  
 b 黒色( # 2/1) にぶい黄褐色粒子(φ1～2mm 5%)。しまり強、粘性やや強。  
 VII 黄褐色( # 7/8) 砂質シルト。しまりやや強、粘性弱。



第28図 R5-19 調査区平面図・柱状図

## (12) R5-20 東国分町字村前 223-1他

・調査日 令和5年6月5日

【環境】 南東流する牛池川と染谷川に挟まれた台地平坦面上に立地し、標高は現況で127m付近となる。調査地西50mには上野国分寺跡が存在する。東100mには上野国分僧寺・尼寺中間地域があり、東院と推定される掘立柱建物群や井戸などが調査されている。

【結果】 整地の際の造成土(I層)、旧表土(II層)、As-Bを含まない黒褐色土(III層)、地山の黄橙色シルト(IV層)を標準土層とする。

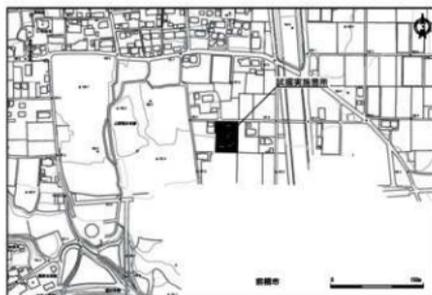
なお、遺構確認はIII層上面でおこなった。

1・3トレンチ 近現代のカクランにより保存対象となる遺構の検出はないが、土師器、須恵器、布目瓦、灰軸陶器片などの遺物が出土する。

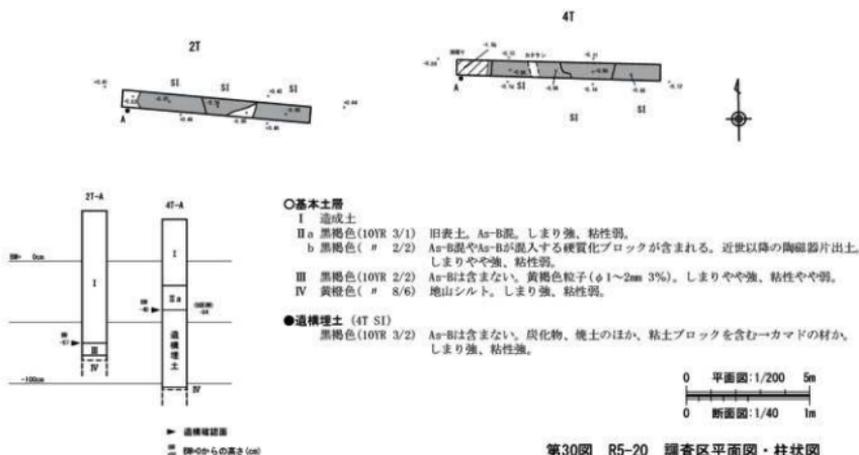
2トレンチ 厚い造成土(I層)下にAs-Bを含まない黒褐色土(III層)があり、遺構はこの面から確認できる。遺構確認面はIII層上面でGL-108cm(BM-67cm)となる。この面において堅穴建物3軒を検出した。いずれも重複する。遺構検出深度はGL-100~110cm(BM-59~69cm)となる。各堅穴建物の深さは、遺構確認面から遺構底面までおよそ10~20cmである。

4トレンチ 造成土(I層)および旧表土(IIa層)を除去するとすぐさま遺構が露出する。遺構検出深度はGL-74cm(全体BM-84cm、B区BM-40cm)となる。この面において堅穴建物を複数検出した。重複するため軒数はおよそであるが、3~4軒と推定される。各堅穴建物の深さは遺構確認面から遺構底面までおよそ60~70cmとなる。トレンチ西端の堅穴建物は埋土に焼土や炭化物、カマド材と推定される粘土ブロックを含み、布目瓦片が出土する。カマドに転用したものであろうか。

2・4トレンチ検出の堅穴建物の年代について詳細は不明であるが、遺構内より布目瓦が出土することから国分寺創建より遡らず、灰軸陶器片も出土することから9世紀後半以降と想定される。(山本)



第29図 R5-20 東国分町 調査区位置図



第30図 R5-20 調査区平面図・柱状図

## (13) R5-44 上並榎町字八反田 152地

・調査日 令和5年9月5日

【環境】 調査地は烏川の左岸段丘に連なるおおむね平坦な台地上にあり、標高は現況で101～102mである。調査地付近には消滅した全長120mの前方後円墳とされる上並榎稲荷山古墳がある。

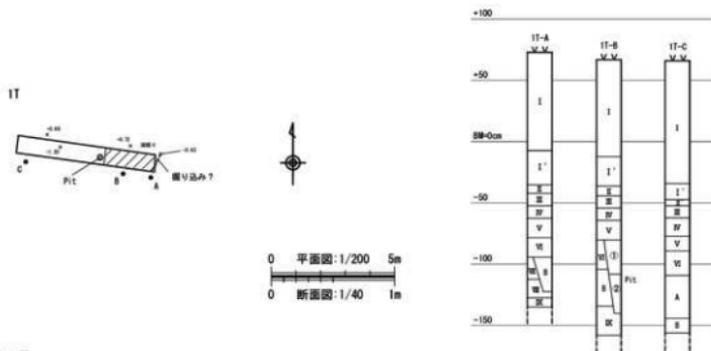
【結果】 1トレンチでは、1m以上の造成盛土層が堆積し、下層にはAs-A混土層（Ⅱ層）、As-B混土層が現地表下160～170cmまで堆積しており、As-Bの一次堆積層は残存していなかった。

As-B混土層下には黒色土層（A層）や黒褐色土層（B層）が厚さ25～45cm以上認められ、西から東に向かって高くなる。トレンチ東端の土層断面では黒褐色土層（B層）と地山層（Ⅶ・Ⅷ層）の色調や夾雑物の違いが認められ、何らかの掘りこみが存在する可能性がある。調査地の位置から稲荷山古墳の周堀に関連する掘りこみの可能性も考えられるが、狭小で限定的なトレンチ調査であることから、稲荷山古墳の周堀か否かは今後の調査成果の蓄積をもとに慎重に判断するべきであろう。

なお、トレンチ西側はAs-B混土下からの湧水により、黒色土層（A層）下層の土層堆積は確認できなかった。また、トレンチ東側では現地表下142cmで中世期以降と推定されるビットが2基検出された。（南雲）



第31図 R5-44 上並榎町 調査区位置図



## ○基本土層

- I 造成盛土。As-YPや黄褐色ロームをブロック状にやや多く含む。しまり強、粘性弱。  
 I' 褐色(101R 4/1) 造成盛土。小礫(3～6cm)やや少。しまり強、粘性やや弱。  
 II 灰黄褐色(Ⅱ # 4/2) As-A混土。As-B密度やや高。しまり強、粘性弱。  
 II' 灰黄褐色(Ⅱ # 4/3) II層基調だが、純層のAs-Aをブロック状に多く含む。しまり強、粘性弱。  
 III 灰褐色(Ⅲ # 5/2) シルト質。As-Bが少し混じる。C黒。しまりやや強、粘性弱。  
 IV 黒褐色(Ⅳ # 3/2) As-B混土。As-B密度低。黄褐色粒(1～3mm)少。しまり強、粘性やや弱。  
 V ぶい黄褐色(Ⅴ # 4/2) As-B混土。As-B密度やや低。黄褐色粒(1～5mm)やや多い。しまり強、粘性やや弱。  
 VI 黒褐色(Ⅵ # 2/2) As-B混土。As-B密度やや高くザラザラ。しまり強、粘性やや弱。  
 VII 灰黄褐色(Ⅶ # 4/2) 地山。細粒砂の凝集層。As-YP少。ザラつく。しまり強、粘性弱。  
 VIII ぶい黄褐色(Ⅷ # 4/3) 地山。Ⅷ層に似るが、より色調明るい。しまり強、粘性弱。  
 IX 黄褐色(Ⅸ # 5/6) 地山。細粒砂の凝集層。円礫(10cm)少し含む。しまり強、粘性弱。  
 A 黒色(Ⅰ # 2/1) やや粘質土。IX層土ブロック(3～5cm)やや少し含む。As-Cの混入不明瞭。しまりやや強、粘性やや強。  
 B 黒褐色(Ⅱ # 3/2) Ⅷ層に似るが色調暗く、Ⅷ・IX層土ブロック(3～6cm)やや少し含む。少しザラつく。しまり強、粘性やや弱。

## ●遺構埋土

- ① 黒色(Ⅰ # 2/1) ビット埋土。As-B混土。Ⅶ層土に似るがより暗色。As-B密度やや高い。しまりやや強、粘性弱。  
 ② 黒褐色(Ⅱ # 2/2) ビット埋土。As-B混土。B層土と①層土がブロック状に混ざりあう。しまりやや弱、粘性弱。

第32図 R5-44 調査区平面図・柱状図

## (14) R5-45 倉賀野町字下正六 605-1

・調査日 令和5年9月6日

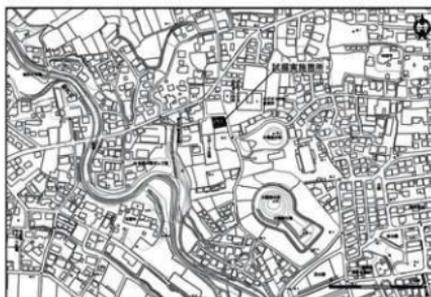
【環境】 調査地は鳥川左岸の北西から南東方向にのびる台地上、標高82m前後に立地する。調査地の東隣には小鶴巻古墳、南側には大鶴巻古墳などの前方後円墳が所在する。

【結果】 1 トレンチ 現地表下100cm前後でAs-B層（V層）があり、小鶴巻古墳の周堀内と推定される。As-B層は南から北に向かって高くなる状況が確認された。トレンチ北端のサブトレではAs-B層が8cm程度堆積しておりAs-B層の下層には粘質土の堆積（VI～X層）を60cm以上確認したが、GL-172cm前後の湧水により基底面は検出できなかった。

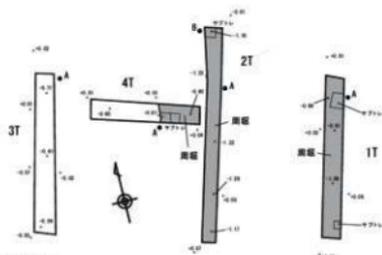
2 トレンチ 現地表下92cmでAs-B層（V層）があり、小鶴巻古墳の周堀内と推定される。基底面は現地表下128～142cmで検出され、周堀が南→北に向かって高くなる状況が認められた。トレンチ北端ではAs-B層（V層）が残存せず、混土化していたことから小鶴巻古墳の北側周堀の外側の立ち上がりに近い可能性が考えられる。

3 トレンチ 現地表下66cmで高崎泥流層（A層）が検出され、周堀の外側と考えられる。なお、高崎泥流層上面では遺構は確認できなかった。

4 トレンチ 現地表下87cmで小鶴巻古墳の西側周堀の外側の立ち上がりを確認した。周堀は地山の高崎泥流層を掘りこみ、基底面の深さは23cmであった。4 トレンチの周堀の立ち上がりは調査地南側の過年度試掘調査（R2-13、R2-79）により確認された立ち上がりと同じものと考えられる。（南雲）

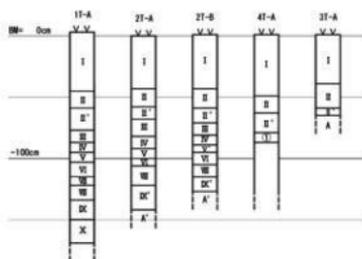


第33図 R5-45 倉賀野町 調査区位置図



## ○基本土層

- |      |                   |  |
|------|-------------------|--|
| I    | 灰黄褐色 (10YR 4/2)   | 造成盛土。  |
| II   | 明褐色 (7.5YR 5/6)   | 水田耕作土。鉄分小ブロック多。しまり強、粘性弱。しまりやや強、粘性やや強。                            |
| III  | 灰黄褐色 (10YR 4/2)   | 水田耕作土。鉄分赤褐色あり。しまり強、粘性弱。  |
| IV   | 黒褐色 (10YR 2/2)    | As-B層。As-B密度やや高。黄褐色粒(φ2~6mm)少。しまり強、粘性弱。                          |
| V    | にぶい黄褐色 (10YR 5/3) | As-B層。As-B密度高。しまり強、粘性弱。  |
| V'   | 黒褐色 (10YR 3/2)    | As-B一次堆積層か。ユニット不明瞭だが純度高い。しまり強、粘性弱。                               |
| VI   | 黒褐色 (10YR 3/2)    | As-B混土。V層のAs-Bがカクハンにより混土化を受けるが、部分的に純度の高いAs-Bがブロック状に混じる。しまり強、粘性弱。 |
| VII  | 灰黄褐色 (10YR 4/2)   | 粘質土。橙色粒(φ1~3mm)やや少。しまり強、粘性強。                                     |
| VIII | 灰黄褐色 (10YR 4/2)   | 粘質土。橙色粒(φ1~3mm)多。鉄分小ブロックやや少。しまり強、粘性強。                            |
| IX   | 黒褐色 (10YR 2/2)    | 粘質土。橙色粒(φ1~3mm)少。しまりやや強、粘性強。                                     |
| X    | 黒褐色 (10YR 2/2)    | IX層基調。A'層土を小ブロック状に少し含み、少し砂質感あり。橙色粒(φ1~5mm)やや少。しまり強、粘性やや強。        |
| A    | 明黄褐色 (10YR 6/8)   | 粘質土。橙色粒(φ1~3mm)やや少。As-Cを少し含むか。しまりやや強、粘性強。                        |
| A'   | にぶい黄褐色 (10YR 4/3) | 地山か。A'層に似るが色調暗い。しまり強、粘性弱。高崎泥流層か。                                 |
| A''  | にぶい黄褐色 (10YR 7/3) | 地山。高崎泥流層。小礫(φ2~4cm)少。しまり強、粘性弱。                                   |
| ①    | にぶい黄褐色 (10YR 4/3) | As-B層。As-B密度やや低く下層土をブロック状に含む。ザラつく。しまり強、粘性弱。                      |



0 平面図: 1/200 5m  
0 断面図: 1/40 1m

第34図 R5-44 調査区平面図・柱状図

- (15) R5-49 菅谷町字高畑813, 高貝戸725他  
(菅谷土地区画整理事業25-2街区の一部)  
・調査日 令和5年9月19日

【環境】 相馬ヶ原扇状地から前橋台地へ移行する地帯、標高114m前後に立地する。周辺では菅谷地区区画整理事業関連の調査(菅谷高畑遺跡等)で古代集落等を検出している。

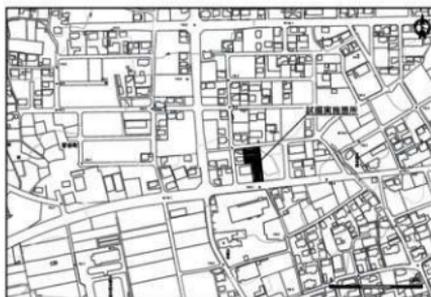
#### 【結果】

1 トレンチ 竪穴建物1軒(SI01)、溝跡1条(SD01)、土坑1基(SK01)、その他ピット1基を検出した。遺物は奈良・平安時代の土師器や須恵器片が少量出土することから、当該時期の遺構と推定される。

2 トレンチ 竪穴建物2軒(SI02、03)、溝跡2条(SD02、03)を検出した。1 トレンチ同様に遺物は奈良・平安時代の土師器や須恵器片が出土することから、当該時期の遺構と推定される。

3 トレンチ 溝跡2条(SD04、05)、大型の溝もしくは土坑1基を検出した。出土遺物はない。

4 トレンチ 溝跡2条(SD06、07)を検出した。出土遺物はない。(清水)



第35図 R5-49 菅谷町 調査区位置図

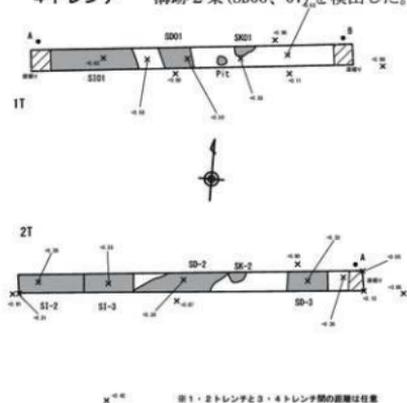
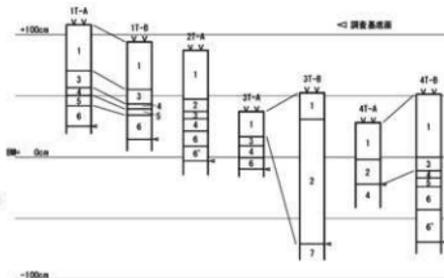
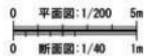
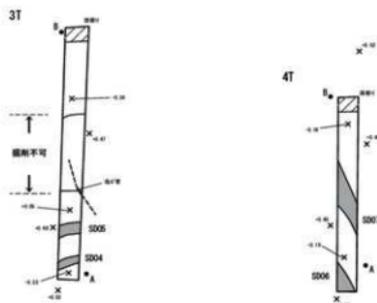


図1・2トレンチと3・4トレンチ間の距離は任意



#### ○基本土層

- 1 灰褐色土(10YR 4/1) As-A, As-B混じる。粘性なく軟弱(現耕作土)。
- 2 黒褐色土( # 3/1) As-B混じる。やや粘質でしまりあり。
- 3 明黄褐色土( # 6/6) Br-FA層(純堆積層)
- 4 黒色土( # 2/1) As-C混じる黒色粘土。やや粘質でしまりあり。
- 5 黒色土( # 1.7/1) As-Cを多数に混じる。
- 6 黒褐色土( # 2/2) 白色砂、黄色砂(1%)混じる。粘質でしまりあり。
- 7 にぶい黄褐色土( # 6/3) 基礎層



第36図 R5-49 調査区平面図・柱状図

- (16) R5-51 岩鼻町字天神 233-1  
 ・調査日 令和5年10月4・5日

#### 【環境】

鎌名山東南麓から流れる井野川と利根川支流の鳥川の合流地点に近い左岸の自然堤防上に立地する。調査地の標高は現況で70mである。調査地の北東には不動山古墳や綿貫観音山古墳などを中核とする綿貫古墳群があり、調査地東の岩鼻天神遺跡では竪穴建物跡や6世紀代の古墳が確認されている。



第37図 R5-51 岩鼻町 調査区位置図

#### 【結果】

##### 1 トレンチ

高崎泥流層（Ⅶ層）上面で、古墳（SZ01）の南北の周堀を検出した。SZ01周堀の北側の幅は約1.6m、南側の幅は約1.5mで、墳丘は削平され攪乱の掘りこみが認められた。周堀の検出面は北側が現地地表下177cm、南側が現地地表下158cmであり、基底面までの深さは北側が23cm、南側が44cmである。周堀の埋土中や上層のAs-B混土中からは円筒埴輪片や葺石の崩落と思われる円礫（径20～30cm）が出土した。周堀の形状から埴輪長8m前後の円墳の可能性があり、埴輪をもつことから築造は6世紀代と推定される。なお、上毛古墳総覧には記載漏れの古墳である。

##### 2 トレンチ

南北方向の溝1条（SD01）、SD01と重複する溝1条（SD02）を検出した。SD01は現地地表下145cmの高崎泥流層（Ⅶ'層）上面で検出され、幅は約3.5m、基底面までの深さは50cm、平面形状はわずかに弧を描き、埋土はAs-Bを含まない地山ブロック混土であるため、古墳の周堀の可能性が考えられる。このSD01が古墳の周堀ならば、上毛古墳総覧漏れの古墳となる。SD02はSD01を掘りこんで形成され、埋土にAs-Bを多く含むことから時期は中世以降と推定される。なお、遺物や円礫などの出土は認められなかった。

##### 3 トレンチ

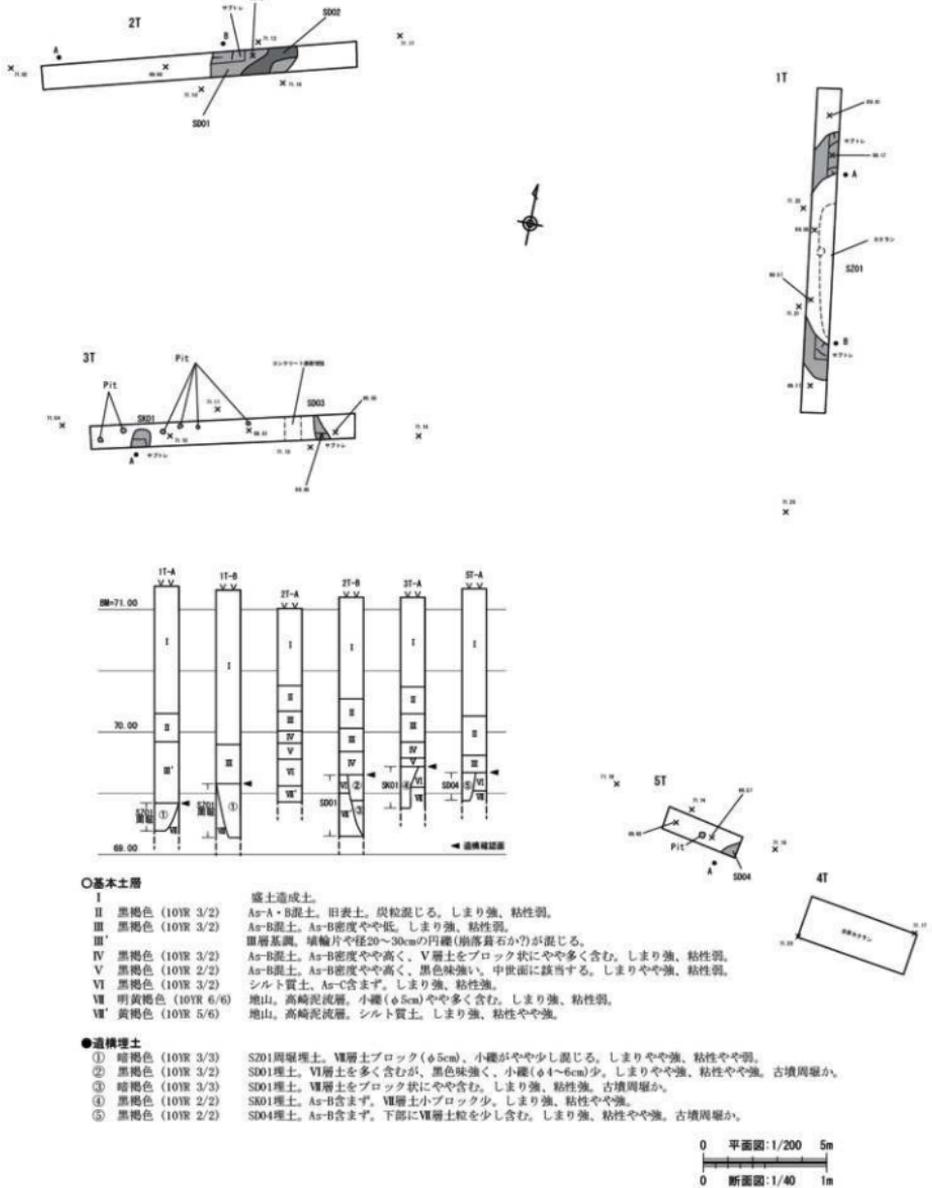
現地地表下138cmの黒褐色シルト質土上面で土坑1基（SK01）・溝1条（SD03）・ピット6基を検出した。SK01の検出長60cm、幅35cmで深さは34cmである。埋土はAs-Bを含まず、土師器片が出土しており、時期は古代以前と推定される。SD03は南北方向に走行し、埋土にはAs-Bを多く含むことから時期は中世以降と思われる。ピットは埋土にAs-Bを含まないものが多いため、時期は古代以前の可能性がある。

##### 4 トレンチ

盛土造成土中に南北方向のコンクリート基礎などが広範囲に認められたため、掘削を断念し、位置を西にずらして再度トレンチ設定（5T）し掘削を行った。

##### 5 トレンチ

現地地表下150cmのシルト質土（Ⅵ層）上面で溝1条（SD04）・ピット1基を検出した。SD04の検出範囲はわずかであるが、平面形状はわずかに弧を描き、埋土はAs-Bを含まないことから古墳の周堀の可能性がある。なお、基底面までの深さは23cmである。また、SD04が古墳の周堀ならば、上毛古墳総覧に記載された古墳（岩鼻村第4古墳）の可能性がある。ピットは埋土にAs-Bを含まないことから時期は古代以前の可能性がある。（南雲）

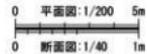


○基本土層

- |      |   |
|------|---|
| I    | 腐土造成土。  |
| II   | 黒褐色 (10YR 3/2) As-A・B混土。旧表土。炭粒混じる。しまり強、粘性弱。                 |
| III  | 黒褐色 (10YR 3/2) As-B混土。As-B密度やや低。しまり強、粘性弱。                   |
| III' | 腐層基調。埴輪片や径20~30cmの円礫(崩落墓石か?)が混じる。                           |
| IV   | 黒褐色 (10YR 3/2) As-B混土。As-B密度やや高く、V層土をブロック状にやや多く含む。しまり強、粘性弱。 |
| V    | 黒褐色 (10YR 2/2) As-B混土。As-B密度やや高く、黒色味強い。中世面に該当する。しまりやや強、粘性弱。 |
| VI   | 黒褐色 (10YR 3/2) シルト質土。As-C含まず。しまり強、粘性強。                      |
| VII  | 明黄褐色 (10YR 6/6) 地山。高純泥流層。小礫(φ5cm)やや多く含む。しまり強、粘性弱。           |
| VII' | 黄褐色 (10YR 5/6) 地山。高純泥流層。シルト質土。しまり強、粘性やや強。                   |

●遺構埋土

- |   |  |
|---|--|
| ① | 暗褐色 (10YR 3/3) S201周層埋土。VII層土ブロック(φ5cm)、小礫がやや少し混じる。しまりやや強、粘性やや弱。       |
| ② | 黒褐色 (10YR 3/2) S201埋土。VI層土を多く含むが、黒色味強く、小礫(φ4~6cm)少。しまりやや強、粘性やや強。古墳周層か。 |
| ③ | 暗褐色 (10YR 3/3) S201埋土。VII層土をブロック状にやや含む。しまり強、粘性強。古墳周層か。                 |
| ④ | 黒褐色 (10YR 2/2) S201埋土。As-B含まず。VII層土小ブロック少。しまり強、粘性やや強。                  |
| ⑤ | 黒褐色 (10YR 2/2) S204埋土。As-B含まず。下部にVII層土粒を少し含む。しまり強、粘性やや強。古墳周層か。         |



第38図 R5-51 調査区平面図・柱状図



○基本土層

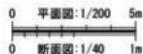
- I 褐色 (10YR 4/4)
- II 褐灰色 (10YR 4/1)
- III 黒褐色 (10YR 3/2)
- III' 黒褐色 (10YR 2/3)
- IV にぶい黄褐色 (10YR 4/3)
- V 暗褐色 (10YR 3/3)
- ① As-B一次堆積層。

盛土造成土。上部は碎石主体で下部は縦戻じりの粘質土。しまり強、粘性やや弱。  
 造成前の木田床土。As-A・Bを少し含む。しまり強、粘性やや弱。  
 As-B混土。As-B密度低く、下層の橙色粒をやや少し含む。しまり強、粘性弱。  
 As-B混土。砂質。ややしまる。②層に似る。  
 地山か。橙色粒(φ1~5mm)多く含む。全体赤褐色味をおびる。しまり強、粘性強。  
 シルト。黄色ブロック混。よくしまる。

●遺構埋土

- ② 暗褐色 (10YR 3/3)

中堤の盛土の崩落土か。IV層に似るが少し暗色で、橙色粒の混入量がわずかに少ない。しまり強、粘性やや強。



第40図 R5-53 調査区平面図・柱状図

## (18) R5-62 東国分町字村前 215-1他

・調査日 令和5年11月8・9日

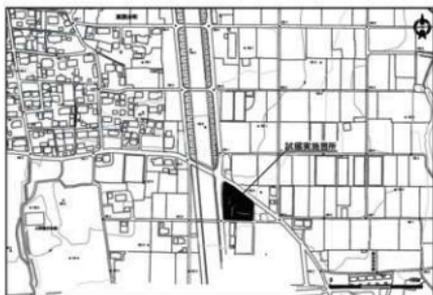
・調査内容

【環境】 調査地の標高は現況で127mである。調査地の約300m西に上野国分寺跡、約200m東に国分尼寺跡が所在する。

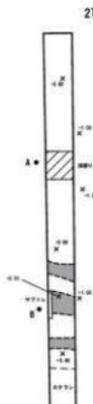
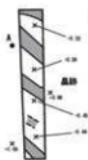
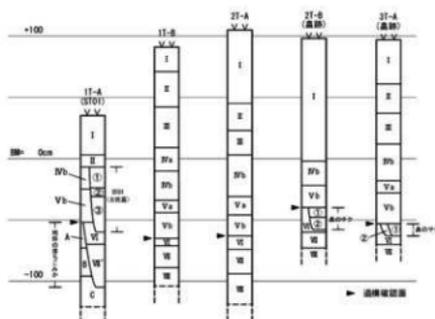
## 【結果】

1～3トレンチ 現地地表下138～156cmのAs-C混黒色土（VI層）上面で島のサクを検出した。サク内には二次堆積化したHr-FAブロックが混入しており、時期は古墳時代後期以降と推定される。サクの主軸は南北、北西～南東方向であり、幅は40～50cm、深さは10～18cm程度であった。調査地西隣の上野国分僧寺・尼寺中間地域遺跡では古墳時代後期以降の島のサクが検出されており、調査地付近は島作地帯であったと推定される。

1トレンチ東端 現地地表下42cmのAs-B混土上面で中世期の土坑墓を検出した。規模は幅70cm、深さ53cmで、底面付近に人の頭蓋骨の後頭部、頸椎を確認した。頭北面西右脇臥で埋葬されたものと推定される。（南雲）



第41図 R5-62 東国分町 調査区位置図



## ○基本土層

- I 黒褐色 (10YR 3/2)  
II 暗褐色 (10YR 3/3)  
IVa 黒褐色 (10YR 2/2)  
IVb 黒色 (10YR 2/1)  
Va 黒褐色 (10YR 3/2)  
Vb 暗褐色 (10YR 3/1)  
VI 黒色 (10YR 2/1)  
VII 黒褐色 (10YR 2/1)  
VIII 黒色 (10YR 2/1)  
A 黒褐色 (10YR 3/1)  
B 黒褐色 (10YR 3/2)  
C 黒褐色 (10YR 4/4)

## ●遺構埋土

## ST01(土坑墓)

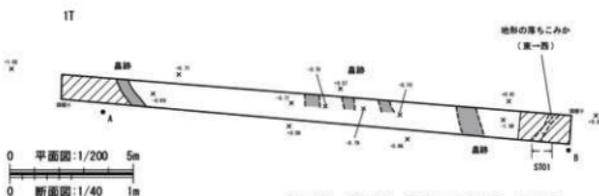
- ① におい・黄褐色 (10YR 4/3) As-B混土。As-B密度やや低。しまり強、粘性弱。  
② 黒色 (10YR 3/2) As-B混土。As-B密度やや低。IVb層土ブロックやや多。しまり強、粘性強。  
③ 灰黄褐色 (10YR 4/2) As-B混土。As-B密度やや低。Vb層土をブロック状にやや多。下部から人骨が出土する。しまり強、粘性弱。

## 点跡

- ① 黄褐色 (10YR 5/6) 島のサク内、Hr-FA二次堆積ブロック(4~6cm)主体。硬くしまる。しまり強、粘性弱。  
② 黒褐色 (10YR 3/2) 島のサク内、FA含まず。Vb層に少し似る。VI層土ブロック少。しまりやや弱、粘性弱。

## 砂石土体の用土土。

硬土造成土。As-A・B混土。硬くしまる。しまり強、粘性弱。  
硬土造成土。As-A・B混土。段粒少。硬くしまる。しまり強、粘性弱。  
As-B混土。As-B密度やや高。暗褐色土ブロックやや少。しまり強、粘性強。  
As-B混土。As-B密度高。IVb層より暗色。しまり強、粘性弱。中層部に該当する。  
やや粘質土。As-C混土。As-C密度低。しまり強、粘性やや強。古代に該当する。  
やや粘質土。As-C混土。As-C密度やや低。Vb層より暗色強い。しまり強、粘性弱。古代に該当する。  
As-C混土。As-C密度高。砂質感やや強い。しまり強、粘性やや強。(C混)に相当。  
シルト質土。As-C含まず。細粒砂やや混じる。下層土をブロック状にやや少含む。しまり強、粘性やや強。  
硬質に似るが、砂の混入不明瞭。しまり強、粘性やや強。  
シルト質土。As-C含まず。細粒砂混じり。しまり強、粘性やや強。  
As-C含まず。暗色少。軟弱地の土。しまり強、粘性弱。  
凝結層。下層土をブロック状にやや含む。しまり強、粘性弱。  
堆土。硬質。しまり強、粘性弱。



第42図 R5-62 調査区平面図・柱状図

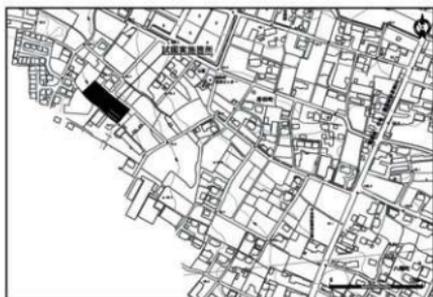
## (19) R5-71 若田町字清水久保 70-1

・調査日 令和5年12月14・15日

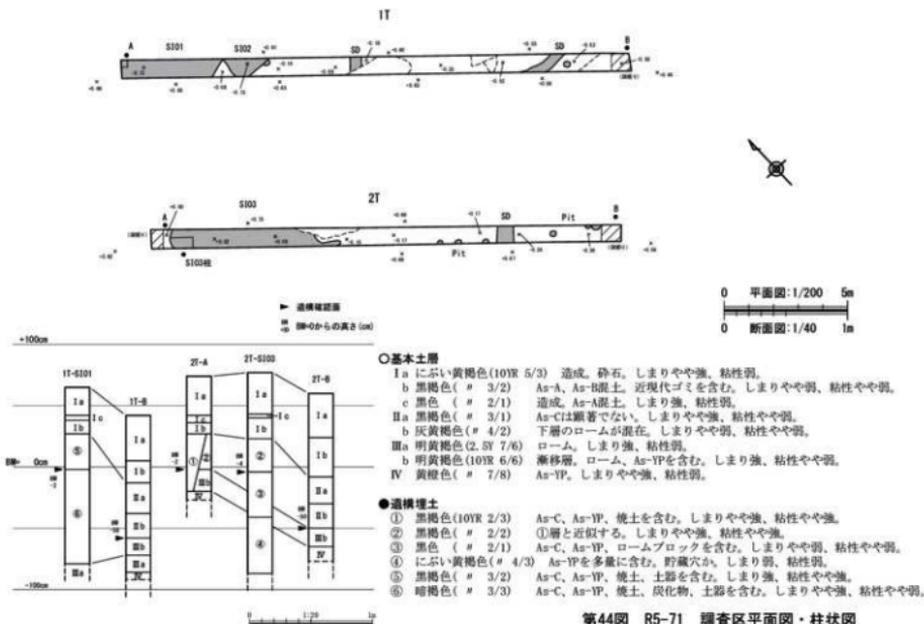
【環境】 鳥川と碓氷川に挟まれた八幡台地上にあり、安中市境にほど近い高崎市域の西端に位置する。標高は現況で148m付近となる。調査地を含む一帯は多数の遺跡が所在する。直近では、北東350mに若田屋敷裏遺跡、同750mに若田坂上遺跡、南東600mに史跡観音塚古墳、同750mに平塚古墳や八幡遺跡が所在する。

【結果】 1トレンチ III層上面にて竪穴建物2軒、ピット2基、溝2条を検出した。遺構確認面はIII層上面で、BL-2～-58cm (GL-67～-100cm)となる。竪穴建物のうち、S101にサブトレンチを掘削したところ、遺構確認面から遺構底面までは約80cmあった。出土する土器の様相から平安時代の遺構と推測される。

2トレンチ III層上面にて竪穴建物1軒(規模が大きいため重複の可能性あり)、ピット6基、溝1条を検出した。遺構確認面はIII層上面で、BL-2～-50cm (GL-76～-110cm)となる。S103は遺構確認面から約40cmの深さまで黒色土の埋土を持ち、以下には同80cmまでAs-YPを多量に含む。遺構南西隅にあたる位置でサブトレンチを掘削をしたところ、深さ80cmの不整形形の掘り込みになった。諸条件から貯蔵穴を想定している。竪穴建物の底面までの深さは遺構確認面から40cmと推定される。遺物は土師器を中心に少量の須恵器も出土し、その様相から平安時代の遺構と考えられる。(山本)



第43図 R5-71 若田町 調査区位置図



第44図 R5-71 調査区平面図・柱状図

## (20) R5-73 上佐野町字舟橋 170他

・調査日 令和5年12月19日

【環境】 烏川の左岸、高崎台地上にあり、標高は現況で84m付近となる。調査地近辺の上佐野地区は多数の古墳が所在する一大古墳群である。調査地周囲には上佐野舟橋遺跡があり、南50mの上佐野舟橋遺跡4では円墳複数基が調査されている。

## 【結果】

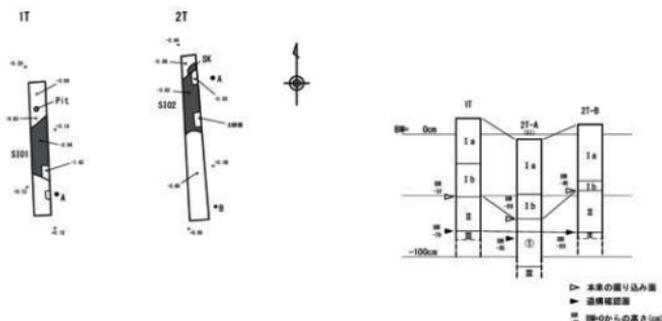
1 トレンチ III層上面において堅穴建物1軒(SI01)、小規模なピット1基(Pit)をそれぞれ検出した。SI01の遺構確認面はBM-79cm

(GL-92cm)であるが、土層断面状況よりII層上面から掘り込んでいることが取られるため、実際の遺構構築面はBM-51cm (GL-64cm)となる。遺構を一部断ち割ったところ、遺構確認面より50cm以上深く下がること分かった。SI01は埋土中よりS字状口縁台付甕の破片や5世紀代土師器高坏脚部を出土するため、5世紀代以降の遺構と考えられる。

2 トレンチ III層上面にて堅穴建物1軒(SI02)、土坑1基(SK)を検出した。SI02の確認面はBM-85cm (GL-81cm)であるが、土層断面状況よりII層上面から掘り込んでいることが取られるため、実際の遺構構築面はBM-46~69cm (GL-54~65cm)となる。遺構を一部断ち割ったところ、遺構底面はBM-104cm (GL-108cm)となり、遺構深度は40cm内外と考えられる。SI02の南側では、ほぼ完形で直立する長胴甕、隣接して正位に置かれた模倣坏が出土した。両土器の周囲には焼土が多く、炭化物も少量観察される。これらはカマド周りの状況と類似することからSI02に伴うカマド施設であると推測される。遺構は遺物の年代観から6世紀後半~7世紀代と推定される。(山本)



第45図 R5-73 上佐野町 調査区位置図

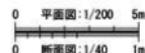


## ○基本土層

- I a 暗褐色(10YR 3/3) 埋め立て土。しまり強、粘性弱。  
 b 灰黄褐色( # 4/2) As-A, As-B混土。しまり弱、粘性弱。  
 II 黒褐色( # 3/1) 黄褐色土ブロック(φ1~2cm 5%)。しまり強、粘性やや弱。  
 III にがい黄褐色( # 4/2) シルト。地山。しまり強、粘性やや弱。

## ●遺構埋土

- ① 黒褐色( # 3/2) As-C混(わずが)。焼土、炭化物を少量含む。しまり強、粘性やや強。



第46図 R5-73 調査区平面図・柱状図

## (21) R5-74 引間町字松葉 2-1, 3-1

・調査日 令和5年12月21・22日

【環境】 相馬ヶ原扇状地端部が平坦な前橋台地へと移行する地域に位置する。調査地の北東には上野国分寺跡、国分尼寺跡があり、周辺遺跡では古墳から奈良・平安時代の集落や中世の館跡、墓跡が確認されている。

## 【結果】

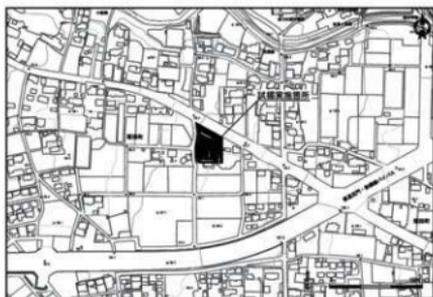
1 トレンチ 堅穴建物4～5軒、土坑1基、ビット2基を検出した。SI01、SI04は現地地表下100cmの黒色土(VIa層)上面で確認でき、古墳時代後期から平安時代と推定される。SI01は深さ64cmで貼床面が確認された。SI04はトレンチ南壁にてカマドと推定される黄褐色ロームと焼土範囲であり、SI01の東カマドの可能性もあるが、別の堅穴建物とした。SI02、SI03は現地地表下76cmの黒褐色土上面で確認でき、時期は平安時代と推定される。SI02は深さ58cmで貼床面が確認でき、東カマド付近からは須恵器の甍片や瓦片が出土した。瓦片はカマドの構築材として転用された可能性がある。土坑(SK01)は現地地表下122cmの地山層(VIIa層)上面で検出され、埋土中から土師器片や鉄洋、鉄製品(鉋か)が出土した。時期は古墳～平安時代と推定され、粘土採掘坑の可能性はある。

2 トレンチ ほぼ全域に礫を含む攪乱がおよんでいたが、トレンチ西端にて堅穴建物1軒を検出した。堅穴建物(SI05)は現地地表下56cmのAs-C混土(Vb層)上面で検出され、検出範囲は南西隅のコーナー部分のみであるが、埋土から須恵器の高台付境が出土した。時期は平安時代と推定される。

3 トレンチ 調査面は地山面(VIc層)上面で、遺構は確認できなかった。

4 トレンチ 調査面は地山面(VIc層)上面で、As-Bを含まないビットを1基検出した。トレンチ南半部は2トレンチと同様に攪乱が広くおよんでおり、遺構は確認できなかった。

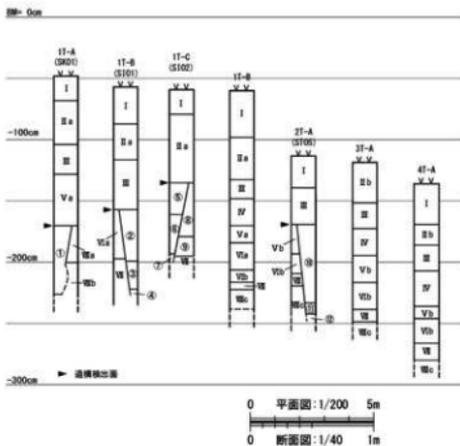
5 トレンチ 調査面は地山面(VIc層)上面で、遺構は確認できなかった。(南雲)



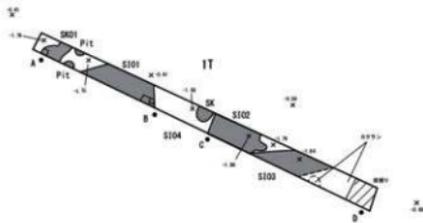
第47図 R5-74 引間町 調査区位置図

## ○基本土層

- Ⅰ 盛土造成土。砕石や硬質土主体。旧表土。草類やゴミを多く含む。しまり強、粘性なし。
- Ⅱa 黒色 (10YR 2/1) 田植作土。As-A・B混土。下部に鉄分沈着層あり。しまり強、粘性なし。
- Ⅱb 黒褐色 (# 3/1) 田植作土。As-A・B混土。下部に鉄分沈着層あり。しまり強、粘性なし。
- Ⅲ 黒褐色 (# 3/2) As-A・B混土。炭粒少。ゴミ含む。しまり強、粘性なし。
- Ⅳ 黒褐色 (# 3/2) やや砂質土。As-B含まず。As-Cやや少。しまり強、粘性やや弱。古代に該当する。
- Va 黒色 (# 2/1) As-C混土。少し粘質土。As-C密度やや低。しまりやや強。粘性やや弱。
- Vb 黒褐色 (# 2/2) As-C混土。やや砂質土。As-C密度やや高。しまり強。粘性やや弱。少し粘質土。As-C含まず。白色・褐色粒(1~3mm)少。しまり強、粘性やや弱。
- VIa 黒色 (# 2/1) やや粘質土。As-C含まず。下層土を粒状、小ブロック状に少し含む。VIa層より色調明るい。しまり強、粘性やや強。
- VIb 黒褐色 (# 2/2) 漸移層。やや粘質土。下層土をやや多く含む。しまり強、粘性やや強。
- VII 灰黄褐色 (# 4/2) 地山。やや硬質土。しまり強、粘性弱。ITで検出。
- VIIb ぶい黄褐色 (# 7/3) 地山。粘質土。しまり強、粘性強。
- VIIc 灰黄褐色 (# 6/2) 地山。やや粘質土。しまり強、粘性やや強。2~6ITで検出。

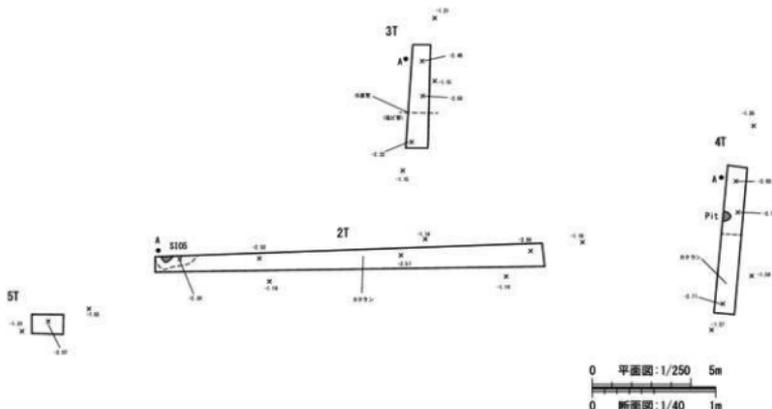


第48図 R5-74 柱状図



## ●遺構埋土

- ① 黒色 (10YR 2/1) SK01埋土。やや砂質土。As-C少。Ⅷa層粒・ブロック少し含むが、部分的に多く混入する。しまり強、粘性弱。
- ② 灰黄褐色 (# 4/2) S101埋土。As-Cやや少。Ⅶ・Ⅷa層土粒・小ブロックやや多。しまり強、粘性弱。
- ③ 灰黄褐色 (# 4/2) S101埋土。As-C少。Ⅶ・Ⅷa層土粒・ブロック (2~3cm) やや多。しまり強、粘性弱。
- ④ にぶい黄褐色 (# 4/2) S101貼床土。Ⅷb層土ブロック多く含む。硬化や光沢感やや強い。しまり強、粘性なし。
- ⑤ 黒褐色 (# 3/2) S102埋土。砂質土。As-Cやや少。⑦層に似るが、より砂質感あり。しまり強、粘性弱。
- ⑥ 黒褐色 (# 2/2) S102埋土。やや砂質土。As-Cやや少。Ⅷ層土粒や炭粒やや少。しまり強、粘性やや弱。
- ⑦ 黒褐色 (# 2/2) S102貼床土。硬化・光沢感強い。しまり強、粘性なし。
- ⑧ 黒褐色 (# 3/2) やや砂質土。Ⅳ層に似るが、Ⅷ層土ブロック少し含む。しまり強、粘性弱。遺構の埋土か？
- ⑨ 黒褐色 (# 2/2) 砂質土。Ⅷb層に似るが、As-Cをやや多く含む。Ⅷ層土粒を少し含む。しまり強、粘性弱。遺構の埋土か？
- ⑩ 灰黄褐色 (# 4/2) S105埋土。As-Cやや多。Ⅷa層土粒・小ブロック少。須恵器 (高台付碗) が混じる。しまり強、粘性弱。
- ⑪ 黒褐色 (# 3/2) S105埋土。As-C少。Ⅶ・Ⅷa層土粒やや少。しまり強、粘性やや弱。
- ⑫ にぶい黄褐色 (# 4/3) S105貼床土。Ⅷa層土ブロックやや多く含む。硬化やや強く、光沢感ややあり。しまり強、粘性なし。



第49図 R5-74 調査区平面図

## 4. 緊急発掘調査の概要

## (1) 金古如来古墳群 (第2次調査)

- ・遺跡番号 847
- ・所在地 高崎市金古町字如来754番1
- ・調査目的 個人農業基盤整備
- ・調査期間 令和4年7月19日～8月12日

## 【調査に至る経緯】

**確認調査** 農業施設整備に伴い確認調査を令和4年5月26日に実施した。付近に墳丘が残存する円墳に留意して、3本のトレンチを掘削した。その結果、古墳周堀と想定される複数条の溝を確認した。いずれの溝でも遺構中央付近の埋土上位にAs-B軽石の一次堆積層が良好に堆積している。そのほか堅穴建物状の落ち込み1ヶ所も検出している。

## 【環境】

地形的には榛名山東南麓の扇状地形に立地する。調査地南180mに南東流する染谷川がある。遺跡地の標高は現況でおよそ178m付近となる。調査地は金古如来古墳群中に位置している。調査地番にはC号墳が所在し、調査地南東にはA・B号墳が近接するなど、周囲には墳丘の残存が確認できる円墳が複数基ある。

## 【調査成果】

調査区に隣接して現存する金古如来C号墳(以下、C号墳)を含めた古墳時代の円墳5～6基の周堀をそれぞれ確認した。調査区外のC号墳を除けばいずれの古墳も墳丘は残存しておらず、その存在は周堀からのみ想定される。すなわち、SD01・04が巡るSZ01(1号墳:C号墳)、SD02が巡るSZ02(2号墳)、SD03およびSD06が巡るSZ03(3号墳)、SD05が巡る小規模なSZ04(4号墳)、SD07が巡るSZ05(5号墳)である。ただし、SD06についてはSD03と湾曲方向が異なっており、SD03により想定される3号墳の墳丘形状とは符号しない。盛土等墳丘を検出していない現況では6基目の古墳の存在を積極的に想定することが難しいが、SD03のあり様から3号墳と5号墳の間に別の古墳が存在した可能性は残しておきたい。

1号墳(C号墳)に伴うと推定されるSD01・04であるが、いずれも同墳南面に至るまでに遺構は立ち上がるため、周堀が同墳を全周しないことが確認できた。2号墳についても南側でSD02が立ち上がるため、古墳南面で周堀が途切れる。また、3号墳を巡るSD03も墳丘推定位置の南西で立ち上がりを見せる。SD06が3号墳に伴うならば、同墳周堀は墳丘の南西で途切れるため、古墳の埋葬主体部(横穴式石室と想定)の開口部は南西の位置にあったものと推測される。

いずれの古墳でも墳丘がほぼ残存していないため、古墳の段築成や外表施設、埋葬主体部などの構造について詳細は不明である。また、周堀からの遺物はほぼ検出できず、わずかに出土した遺物も埋土上位層やAs-B軽石層中からと、古墳に伴うと想定されるものはない。埴輪の出土も皆無であったため、墳丘には埴輪の樹立はないものと考えられる。そのほか、周堀内から礫の検出が少なく、墳丘には積極的に葺石が葺かれていなかった可能性が示唆される。

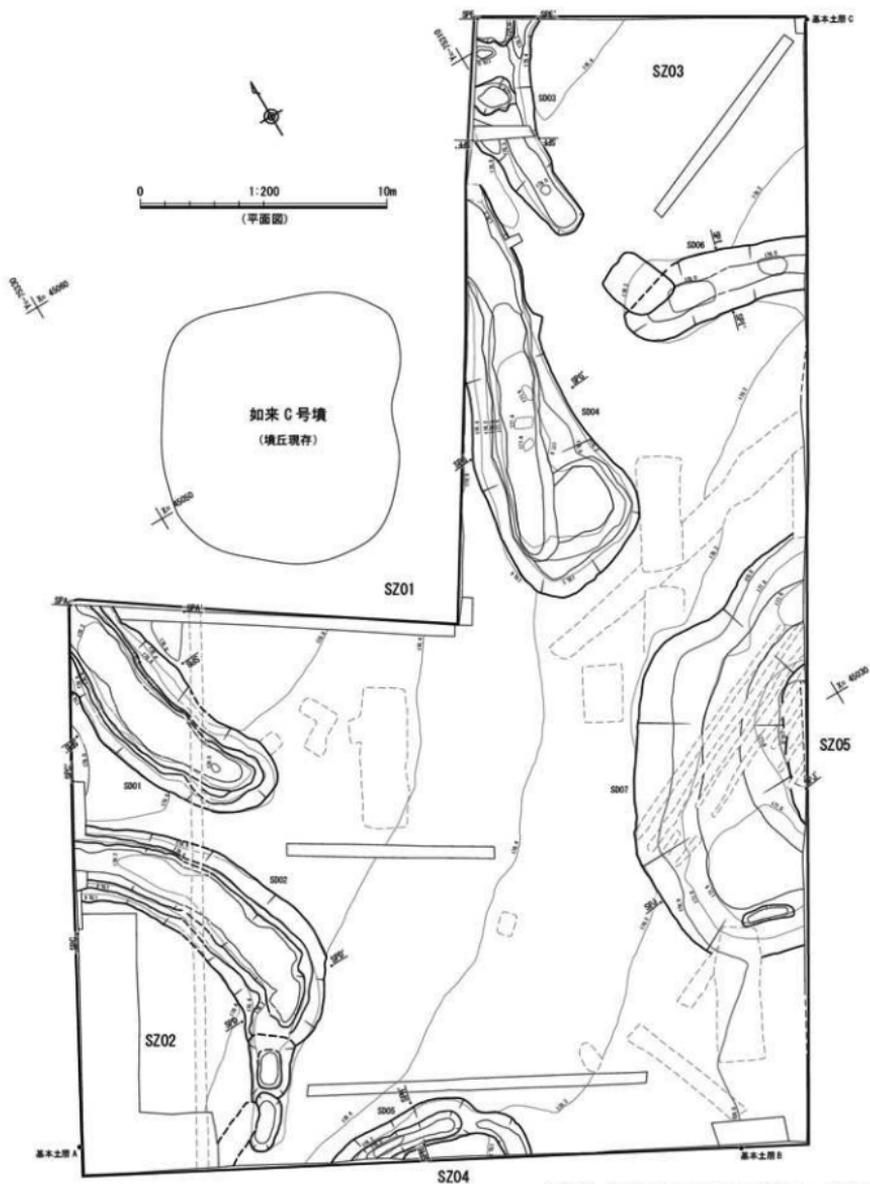
ただし、すべての古墳において、想定される墳丘位置にはHr-FAの一次堆積層が残存している。このことから、古墳の築造は少なくともHr-FA降下時期より新しいことは明らかである。

## 【小結】

今回の調査では、出土遺物が限定的であるため古墳の詳細な築造年代や古墳間の前後関係を明らかにすることは困難である。しかし、Hr-FA降下後の築造でおそらく埴輪を持たないという今回の調査成果に加え、今回の調査地点より80m北西の第1次調査(平成17年実施)で検出した4基の古墳が7世紀中葉以降と評価されている点を鑑みると、今次調査の5基についても同様の築造時期が想定されるものと考えられる。(山本)

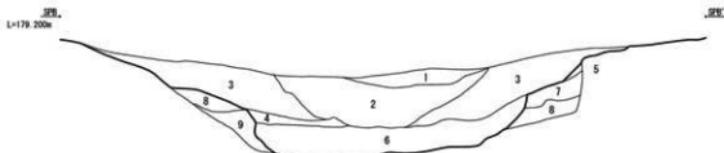


第50図 金古如来古墳群(第2次調査) 調査区位置図



第51図 金古如来古墳群(第2次調査) 全体図

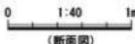
4. 緊急発掘調査の概要



- |                     |  |
|---------------------|--|
| 1 黒褐色 (10YR 3/2)    | カクラン, As-C混, しまりやや弱, 粘性弱。  |
| 2 黒色 (10YR 2/1)     | As-C混, 地山シルトブロック混わずか, しまりやや強, 粘性やや弱。                             |
| 3 黒褐色 (10YR 3/2)    | As-C混, 地山シルトブロック少, しまりやや強, 粘性やや弱。                                |
| 4 黒褐色 (10YR 3/2)    | As-C混, Hr-FA, C混ブロック含む, しまりやや強, 粘性やや弱。                           |
| 5 灰黄褐色 (10YR 4/2)   | As-C混, Hr-FAブロック(φ2~3cm 混), 混土か, しまりやや強, 粘性やや強。                  |
| 6 にがい黄褐色 (10YR 4/3) | As-Cそのものの混入は少ないが, Hr-FAやC混ブロック(φ3~5cm 10%)が多く混入する。しまりやや強, 粘性やや強。 |
| 7 黒色 (10YR 2/1)     | As-C混, いわゆるC混, しまりやや強, 粘性やや弱。                                    |
| 8 黒褐色 (10YR 3/1)    | As-Cが混入しない, しまりやや強, 粘性やや強。                                       |
| 9 にがい黄褐色 (10YR 4/3) | 腐植層, しまり強, 粘性やや弱。  |

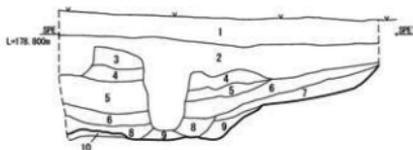


- |                      |   |
|----------------------|---|
| 1 黒褐色 (10YR 3/2)     | 表土, As-B混, しまりやや強, 粘性弱。                         |
| 2 黒色 (10YR 2/1)      | As-B混, しまりやや強, 粘性弱。                             |
| 3 暗赤褐色 (5YR 3/2)     | ピンク灰, 過分火砕流。                                    |
| 4 オリーブ黒色 (5Y 3/2)    | As-B(一次堆積)。                                     |
| 5 黒色 (10YR 2/1)      | As-C混, 地山シルトブロック極めてわずか, しまりやや強, 粘性やや弱。          |
| 6 黒褐色 (10YR 3/2)     | As-C混, 地山シルトブロック少, しまりやや強, 粘性やや弱。               |
| 7 黒褐色 (10YR 3/1)     | As-C混(わずか), しまり強, 粘性やや強。                        |
| 8 黒褐色 (10YR 2/2)     | As-C混, Hr-FAがうっすら, しまり強, 粘性やや弱。                 |
| 9 にがい黄褐色 (10YR 4/3)  | Hr-FAやAs-C混土黒色土ブロック(φ3~5cm 10%), しまりやや強, 粘性やや強。 |
| 10 にがい黄褐色 (10YR 4/3) | As-C混, Hr-FAブロック(φ2~3cm 混), しまりやや強, 粘性やや強。      |
| 11 黒色 (10YR 2/1)     | As-C混土黒色土(いわゆるC混), しまりやや強, 粘性やや弱。               |
| 12 黒褐色 (10YR 3/2)    | Hr-FA, Hr-FA泥混等が混在, しまり強, 粘性強。                  |
| 13 黄褐色 (10YR 7/8)    | Hr-FA(一次堆積), ユニツクが観察される。層上位は泥流。                 |



(断面図)

第52図 SD01・SD02 断面図



## 3号溝 (3PE-E)

- 1 暗褐色 (10YR 3/3)
- 2 黒褐色 (10YR 3/2)
- 3 黒褐色 (10YR 3/1)
- 4
- 5 黒色 (10YR 2/1)
- 6 黒褐色 (10YR 3/2)
- 7 におい黄褐色 (10YR 4/3)
- 8 黒褐色 (10YR 3/2)
- 9 暗褐色 (10YR 3/3)
- 10 褐色 (10YR 4/4)

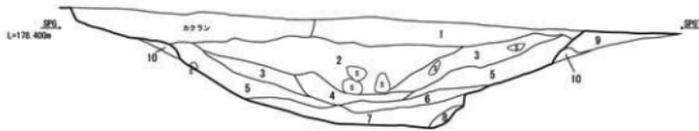
表土、しまりやや強、粘性弱。  
 As-B混。近現代層が、しまりやや弱、粘性弱。  
 As-B混。ピンク灰(湯分火砕流)が混じる、しまり弱、粘性弱。  
 As-C(灰埋層)。  
 As-C混。しまり強、粘性やや強。  
 As-C混、Hr-FA、As-C混ブロックが少量混ざりこむ。しまり強、粘性やや強。  
 As-C(1K)、Hr-FA(φ2~3mm 1K)。しまり強、粘性やや強。  
 As-C、C混、Hr-FAの各種ブロックが混在。しまりやや強、粘性やや弱。  
 As-C、C混、Hr-FAの各種ブロックが少量混じる。しまりやや強、粘性やや強。  
 シルト、しまりやや強、粘性やや弱、地山。



## 3号溝 (3PF-F)

- 1
- 2 黒色 (10YR 2/1)
- 3 黒褐色 (10YR 3/1)
- 4 黒褐色 (10YR 3/2)
- 5 灰黄褐色 (10YR 4/2)
- 6 黒色 (10YR 2/1)
- 7 黒褐色 (10YR 3/2)

As-B  
 As-C混(30%)、しまりやや強、粘性やや弱。  
 As-C混(5%)、しまり強、粘性やや弱。  
 As-C混(7%)、しまり強、粘性やや弱。  
 Hr-FAやC混ブロック混在。しまり強、粘性やや弱。  
 As-C降下層の黒色土。As-C混入しない、しまり強、粘性やや強。  
 As-1P含む。下層のシルト粒子(φ1~2mm 2%)、薄移動。しまり強、粘性強。



## 4号溝 (3PG-G)

- 1 黒色 (10YR 2/1)
- 2 黒褐色 (10YR 3/2)
- 3 黒褐色 (10YR 3/1)
- 4 暗褐色 (10YR 3/3)
- 5 暗褐色 (10YR 3/2)
- 6 黒褐色 (10YR 3/1)
- 7 黒褐色 (10YR 3/1)
- 8 灰黄褐色 (10YR 4/2)
- 9 黒色 (10YR 2/1)
- 10 黒褐色 (10YR 2/2)

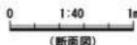
As-B(一次堆積)。上位に湯分火砕流有り。  
 As-C混(5%)。奉天~人根大の礫が中央付近に集中。しまりやや強、粘性やや強。  
 As-C混(1%)、しまり強、粘性やや強。  
 As-C混(7%)、黄褐色シルト粒子(1%混)。しまり強、粘性やや弱。  
 As-Cの混入は少ない(1%)。しまりやや強、粘性やや弱。  
 As-C混(10%)、Hr-FA(φ1~2mm)混在。しまりやや強、粘性やや強。  
 As-C混(3%)、Hr-FA、C混ブロック、地山におい黄褐色ブロック(φ5~7cm 20%)。しまりやや強、粘性やや強。  
 As-C、C混、Hr-FAブロック1%、地山におい黄褐色ブロック(φ2~3cm 10%)。しまりやや弱、粘性やや弱。  
 As-C混。いわゆるC混。しまり強、粘性やや弱。  
 As-Cが混入しない、しまりやや強、粘性やや弱。



## 5号溝 (3PH-H)

- 1 黒褐色 (10YR 2/2)
- 2 黒褐色 (10YR 3/2)

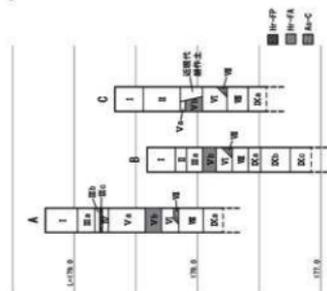
As-C混(3%)、しまりやや強、粘性強。  
 As-C混(3%)、Hr-FA(φ3~5mm 7%)。しまり強、粘性強。



第53図 S003・S004・S005 断面図

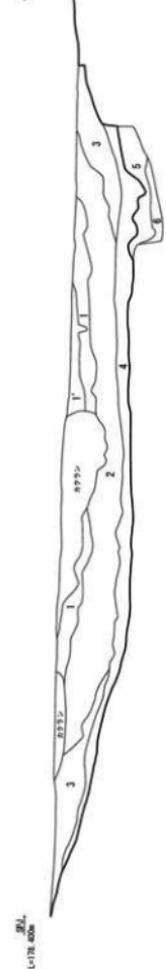
4. 調査地層調査の概要

**○基本土層**  
 I 暗褐色 (10YR 3/1) 粘土  
 II 暗褐色 (\* 3/2) A+B級、A+C級、H+Pプロック(φ1~5cm 3N)を含む、しまりや中強、粘性強。  
 III 灰褐色 (\* 4/2) 灰褐色、H+Pに砂質土層と判定される、しまりや中強、粘性や中強。  
 IV 明褐色 (\* 6/5) 砂質、H+Pに砂質土層と判定される、しまり強、粘性強。  
 V 暗褐色 (\* 7/3) 粘土、しまり強、粘性強。  
 VI 暗褐色 (\* 2/1) 粘土、しまり強、粘性や中強。  
 VII 明褐色 (\* 7/3) 砂の互層、H+Pに伴う淡水層、粘性弱。  
 VIII 明褐色 (\* 7/3) しまり強、粘性なし。  
 IX 暗褐色 (\* 2/1) A+C級土壌土層 (A+C級土壌)。  
 X 暗褐色 (\* 7/3) しまりや中強、粘性や中強。  
 XI 暗褐色 (\* 4/2) A+C、灰度高い、しまり強、粘性なし。  
 XII 暗褐色 (10YR 2/2) 砂質、H+Pに砂質土層と判定される、しまり強、粘性や中強。  
 XIII 暗褐色 (\* 4/2) 暗褐色、H+Pのシルトプロックを含む。  
 XIV 暗褐色 (\* 4/2) 暗褐色、粘性強。  
 XV 暗褐色 (\* 6/5) シルト、しまり強、粘性や中強。



**6号溝 (SDP4-1)**  
 1 暗褐色 (10YR 2/2) A+C級 (13N)、しまり強、粘性強。  
 2 暗褐色 (10YR 2/2) A+C級 (13N)、H+P(φ1~5cm 7N)、しまり強、粘性や中強。

図5



**7号溝 (SDP4-1)**  
 1 暗褐色 (10YR 3/2) 湿分水分低、ピンク泥。  
 2 暗褐色 (10YR 2/1) A+C級 (2N)、しまり強、粘性強。  
 3 暗褐色 (10YR 2/2) A+C級 (2N)、しまり強、粘性や中強。  
 4 暗褐色 (10YR 2/1) A+C級 (2N)、しまり強、粘性や中強。  
 5 暗褐色 (10YR 2/1) A+C級 (2N)、しまり強、粘性や中強。  
 6 じぶい灰褐色 (10YR 4/3) シルト質、しまり強、粘性や中強、塵粉質。



第54図 SD06・SD07 断面図および基本土層柱状図



R4-55(貝沢町) 遺構検出状況(北西→)



R4-74(本郷町) 2T 遺構検出状況(東→)



R4-56(吉井町長根) 遺構検出状況(西→)



R4-69(下室田町) 5T 遺構検出状況(西→)



R4-76(三ツ寺町) 2T 遺構検出状況(北→)



R4-79(貝沢町) 3T 遺構検出状況(南→)



R5-2(中屋町一丁目) 1T 遺構検出状況(西→)



R5-6(菅谷町) 1T 遺構検出状況(東→)



R5-7(上里見町) 3T 遺構検出状況(南西→)



R5-9(小八木町) 1T 遺構検出状況(西→)



R5-19(中泉町) 2T 遺構検出状況(西→)



R5-20(東園分町) 4T 遺構検出状況(東→)



R5-44(上並榎町) 2T 遺構検出状況(東→)



R5-45(倉賀野町) 4T 遺構検出状況(東→)



R5-49(菅谷町) 2T 遺構検出状況(西→)



R5-51(上笠塚町) 1T 遺構検出状況(南→)



R5-53(倉賀野町) 調査状況(北東→)



R5-53(倉賀野町) 葦石列検出状況(東→)



R5-53(倉賀野町) 葦石列検出状況(北東→)



R5-62 (東国分町) 1T 遺構検出状況 (北一)



R5-71 (若田町) 1T 遺構検出状況 (西一)



R5-73 (上佐野町) 2T 遺構検出状況 (北一)



R5-74 (引間町) 1T 遺構検出状況 (西一)



金古如來古墳群(第2次調査) 調査区遠景(南一)



金古如來古墳群(第2次調査) 調査区全景(南東一)



SD01 検出状況(南→)



SD01 土層堆積状況(南西→)



SD02 土層堆積状況(南東→)



SD03 土層堆積状況(南西→)



SD04 土層堆積状況(南→)



SD07 土層堆積状況(南→)



標準土層堆積状況A(南東→)



SD01・04完掘状況(南→)  
※中央の立木が知東C号墳積丘

# 報告書抄録

ふりがな	れいわごねんど しないいせき							
書名	令和5年度 市内遺跡							
副書名	試掘・確認調査・緊急発掘調査報告書							
シリーズ名	高崎市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第505集							
編者名	山本 ジェームズ・南雲 博文							
編集機関	高崎市教育委員会							
所在地	群馬県高崎市高松町35番地1							
発行年月日	令和6年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
かわこよらいごねんでん 金古如來古墳群 (第2次調査)	群馬県高崎市金古町 字 如來754番1	102024	847	36° 24' 10"	138° 59' 37"	2022.07.20 ～ 2022.08.12	1,200㎡	個人農業 基盤整備
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
金古如來古墳群 (第2次調査)	古墳	古墳時代	円墳(周堀) 5基					
備考								

高崎市文化財調査報告書 第505集

令和5年度 市内遺跡

－ 試掘・確認調査・緊急発掘調査報告書 －

印刷・発行日 令和6年3月31日  
 編集・発行 高崎市教育委員会  
 群馬県高崎市高松町35番地1  
 印刷 野島印刷株式会社